人が輝き まちがときめく
ふれあい 交流都市
広報 のぼりべつ
2008.11
No.697

特集 湯のまちの人々

特集 のぼりべつに必要なもの

【写真】登別縄文どきどきまつり『まが玉をつくろう』（10月11日㈯・のぼりべつ文化交流館『カント・レラ』）

もくじ

●登別市功労者表彰・登別市表彰…… 2
●湯のまちの人々…… 4
●のぼりべつに必要なもの…… 8
●男女共同参画社会をめざして……12
●東奔西走……14
●あなたは大丈夫・仲間たち……16
●情報あらかると……17
●となりまちホットライン……36

平成20年度
登別市功労者表彰
登別市表彰

登別市功労者表彰・登別市表彰は、永年にわたり登別市の行政や社会福祉などに貢献された方、市民の模範となる行いをされた方の功績をたたえるものです。

このたびの受賞者は、市功労者表彰５人、市表彰24人３団体（自治貢献表彰12人、社会貢献表彰５人、教育文化貢献表彰６人１団体、篤志表彰１人、善行表彰２団体）で、11月３日(月)の文化の日に市民会館で表彰式が行われます。

なお、今月号では、６月20日に登別市功労者として表彰された方も併せてご紹介します。

～登別市功労者表彰～

髙澤哲三さん

永年にわたり、体育団体役員として体育振興の向上に尽力されました。

村井フサ子さん

永年にわたり、婦人会役員として社会福祉の向上に尽力されました。

上野　晃さん

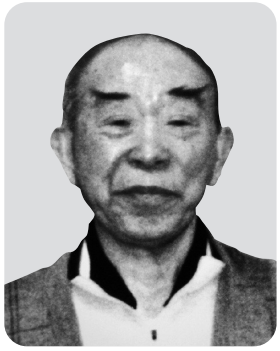
永年にわたり、登別市長として地方自治の振興に尽力され、市政の発展に寄与されました。

皆川和廣さん

永年にわたり、学校医として児童生徒の健康管理ならびに学校環境衛生の向上に尽力されました

中村榮治さん

永年にわたり、学校薬剤師として児童生徒の健康管理ならびに学校環境衛生の向上に尽力されました。



故 **小西直輔**さん

多額の金員を寄附され消防活動の充実と向上に寄与されました（平成20年６月20日に表彰）。

～登別市表彰～

自治貢献表彰

工藤金雄さん
小松克安さん
手塚輝幸さん
鷲津弘志さん

多年にわたり、町内会長をはじめ役員として市勢の発展と振興に尽力されました。

青山さち子さん
太田隆義さん
熊谷勲さん
鈴木忠義さん
只野義勝さん
中西國雄さん
南部敏夫さん
山本謙治さん

多年にわたり、町内会役員として市勢の発展と振興に尽力されました。

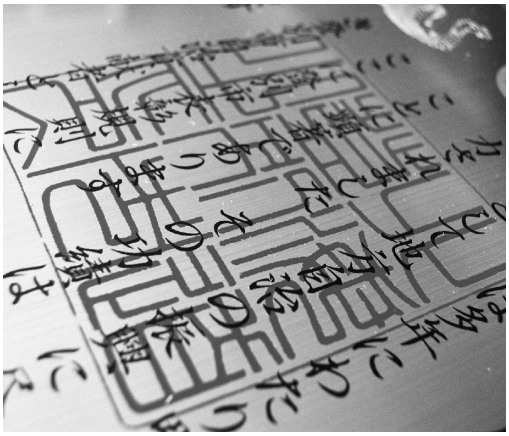
社会貢献表彰

佐藤喜夫さん
松田史明さん

多年にわたり、学校医として児童生徒の健康管理ならびに学校環境衛生の向上に尽力されました。

阿部眞光さん
泉明さん
佐藤修さん

多年にわたり、登別市交通安全指導員として交通安全思想の啓発ならびに交通事故防止に尽力されました。



教育文化貢献表彰

植木則勝さん
山本博さん

多年にわたり、登別市青少年補導委員として青少年の健全育成に尽力されました。

長田清さん

多年にわたり、文化団体役員として芸術文化の振興に尽力されました。

小髙終八郎さん
杉本隆さん
鈴木信義さん

多年にわたり、体育団体役員として体育の振興に尽力されました。

常盤建設株式会社

貴重な遺跡発掘調査を行い、教育文化の振興に尽力されました。

篤志貢献表彰

藤本國夫さん

公共用地として土地を寄附され、市勢の振興に尽力されました。

善行表彰

社団法人北海道猟友会室蘭支部

平成20年5月31日行方不明者捜索に協力し、自己の危険を顧みず人命の救助に尽力されました。

ハンズ・メイト

多年にわたり、ボランティアで衣類のリフォーム活動を行い高齢者や障がい者の自立支援に尽力されました。

問い合わせ
総務グループ
☎85 1130
FAX 85 1108
Eメール：somu@city.noboribetsu.lg.jp

1858－2008
登別温泉開湯150年記念

祝 登別温泉開湯150年特別企画

特集 湯のまちの人々

広報のぼりべつでは、4月号から開湯150年を迎えた登別温泉を祝い、150年にわたる歴史や交通の発達と変遷、観光名所、おまつり、観光ボランティアガイド会などを紹介してきました。

今月号では、特別企画の最後として、湯のまちに暮らす人々にインタビューを行います。

佐々木　一さん

登別温泉の歴史について

インタビュー

登別温泉で70年を過ごし、婦人服店『木舎』を経営しながら、来し方行く末を見守っている佐々木一さんの目から見た登別温泉について、話をお伺いします。

強い夫婦のきずなから始まった登別温泉物語

開湯150年と言いますが、一口に150年と言えば、家族でも5代、6代以上の変遷があり、なかなか昔をたどれないものです。ちょうど、NHKで放映されている大河ドラマ『篤姫』と同時代ですね。

150年前と言えば、その当時の日本では、『安政の大獄』というとても血なまぐさい事件がありました。しかし一方で、日本の北端では、愛妻の皮膚病を治すために険しい山道を進み、ついに登別の湯の薬効により、皮膚病を治したという強い夫婦愛のドラマが登別温泉の原点になったのですね。

『安政の大獄』は幕府を守るために米国との開国を強行した井伊直弼と、尊皇攘夷を唱える水戸藩との『主義、主張の対決』ですが、滝本金蔵の温泉開発は、『愛の実践』です。妻への愛にとどまらず、多くの人の病を治したいという強い気持ちが、その後の登別温泉の繁栄へとつながっていくことになるのですね。

登別温泉の底流には、いつも『病気の人、傷ついた人』を癒してあげたいという『愛の思想』があります。徒歩でしか行けなかった未踏の地も、馬車や鉄道、バスといった交通の利便性の高まりとともに、利用者も次第に増えていきました。特に、日露戦争の時に、傷病兵の治療の場となり、家族も一緒に泊まれる宿泊用の旅館が増えていったことから、温泉街としての発展が始まったようです。その後、大正、昭和の時代には、病気の治療だけでなく、一所懸命働いた農家の人が一年のご褒美として農閑期に湯治をする場所として栄えていくことになります。旅館が林立し、通りにはお土産さんなどが立ち並ぶ現在の温泉街の原風景が完成したと言えるでしょう。湯煙たなびく情感たっぷりの湯のまち登別の誕生と言ったところでしょうか。

同時に、そうして数を増やした旅館やお店の人たちの中で、このまちを愛するという共同体意識が芽生え、道路や周辺の整備、まち並みや公園作りの運動を起こそうということになっていきます。昭和6年（1931年）登別温泉観光協会の誕生には30人の方が加入してます。

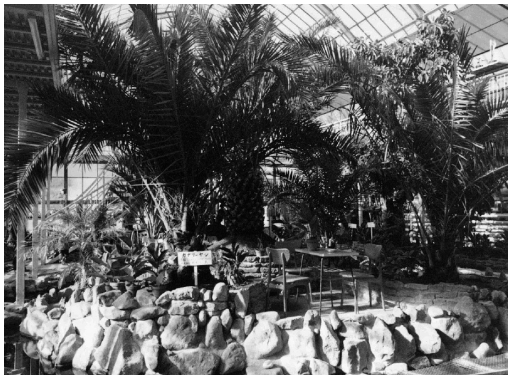
▲大正15年当時の登別温泉街

先人たちの果敢な開拓精神

登別温泉が一大観光施設として人々から認知をされ、さらに大きくしていくためには、経営戦略を磨くだけでなく、まち全体の魅力を作り出し、みんなで力を合わせてお客さまをどんどん誘致していこうという運動が高まったということですね。

ここで、温泉育ちのわたしたちが忘れてはならないのは、自立心旺盛な温泉のパイオニアたちは、自ら率先して交通網の整備を行うなど、努力を惜しまなかったことです。明治14年（1881年）滝本金蔵は私費を投じて道路を開削しましたし、旅館や小売店の人々が日曜日ごとに道路をならし、毎月15日は村をあげて道路改良に努め、馬車が通るようにした。その結果として、明治25年（1892年）に鉄道が開通をしたと言われています。本当に独立自尊のたくましい先祖の方々がいて、今日の繁栄があるのではないでしょうか。特に、昭和12年を境に『南の別府、北の登別』というキャッチフレーズを意識して、グランドホテルという洋風ホテルが誕生したり、東洋一と呼ばれた第一滝本館の大浴場が作られたりと、大きな設備投資がなされました。温泉の方々も、時代を先取りする一大観光地へという意欲を持っていたと思いますが、しかし、この意思が花開くのは、不幸な戦争の時代を過ごし、第2次世界大戦以降を待たねばなりません。戦争が終わって進駐軍特需が起こり、それから、ようやく本格的に世を挙げての観光レジャーブーム（昭和25年ごろ）が起こり、登別温泉は成長路線を突っ走ることになります。

昭和30年ごろには50万人くらいであった観光客も10年後の昭和40年には171万人と3倍以上に増え、まち並みも古風な伝統を守る和風の旅館から、近代的な洋風旅館が立ち並ぶようになりました。また、熱帯植物園やクマ牧場、温泉科学館など、現在のアミューズメントパークにつながるさまざまな施設もこのころ建ちました。


▲昭和40年オープンの『大湯沼熱帯植物』

しかし、豊かになってさまざまな楽しみ方を覚え、目の肥えてきた観光客にどうやって何度も登別温泉に訪れてもらうのかという永遠の課題が残りました。自然の財産に恵まれ、来泉客の心配がなかった登別ではありますが、日本全体の魅力ある観光地との厳しい競争が始まりました。

全市観光へ向けて 鬼の大群舞

そこで、観光協会を中心に、観光客も参加して楽しめるイベントとして、昭和39年から『地獄まつり』が始められましたね。

そうですね。そのため、みんなで知恵を出し、『地獄まつり』というイベントを育てていきました。道路を埋め尽くした鬼踊りの大群舞や鬼みこしを中心とした大パレードは、観光客の度肝を抜くダイナミックなアイデアとして、好評を博しました。踊りに参加をしたのは、町内会や婦人会、自衛隊、市内企業、文化団体、市職員などでまさしく全市観光の具体化です。

その後、平成5年に『からくり閻魔大王像』が設置されました。昨年からは『鬼花火』も始まりました。

▲今年約38,000人が見学に訪れた鬼花火

今年は、温泉の中心に『泉源公園』もオープンし、間欠泉の吹き出しを眺める多くの観光客でにぎわっています。登別の基幹産業は『観光』であり、観光協会が今も目的としている『全市観光』の精神は、観光ボランティアガイド会の皆さんによっても実践されておりますし、着実に根を広げていると思いますね。

新たな物語をつづる 登別温泉へ

150年前の開拓のころからのパイオニアの方々の精神が脈打っているかぎり、登別温泉は進歩を続けると言うことかもしれませんね。勇猛な鬼たちの闊歩（かっぽ）する『鬼火の路』が指し示す湯の先には、地獄から極楽へ向かう癒しのお風呂、妻を思い、皮膚病を治した夫婦のきずなの物語があるということでしょうか。

登別温泉は時代のニーズを先取りし、修学旅行生をいち早く誘致したり、台湾、韓国に早くから目を付け、海外プロモーションを実施して東アジアからの観光客を増やし、全国1、2位の地位をずっと保ってきました。その精神は、皮膚病に悩む愛妻を温泉まで連れて行った一途な夫婦愛から始まったものです。そして、現在の登別温泉は、地獄の鬼が花火の華やかな明かりで人々を導き、心から癒しを覚える本物のお湯があるのです。訪れた人が、家族や愛する人とのきずなを確かめ合い、心を癒すところ、そんな愛のまちなんですね。

楽しい物語りを語り、やさしい気持ちになるために、ぜひ、何度も登別温泉にいらしてください。

本日は貴重なお話ありがとうございました。

熊とともに、自然に生きる

飼育員
阿部　智美さん

獣医師
滝田　裕子さん

開園50年を迎えたクマ牧場は、ロープウエーを登ったところにあり、温泉街が一望できます。美しい景色に誘われ、先ごろボスの世代交代がなったばかりの牧場に行くと、熊の雄たけびが響き、その中に飼育員の阿部智美さんと獣医師の滝田裕子さんがいました。お話を聞くと、自然の知恵は、微妙なバランス感覚がものを言ってスムーズな政権交代となり、国会のような混乱はなかったようです。

「熊の行動を理解し、彼らが動き回るときに危険がないように配慮するのが仕事の上での目標です」と語る飼育担当の阿部さんは函館市出身で、登別に来て５年になります。やはり動物が大好きで、休日には札幌市などの動物園に足が向いてしまうそうですが、冬にはスノーボードも乗りこなすと趣味を語ってくれました。

一方、獣医師として登別に暮らして２年になる滝田さんは鳥取県出身で、登別に来る前も三重県などの動物園で獣医師として勤務をしていたそうです。

仕事ぶりを聞くと、「治癒を手伝えない病気にぶつかることがあり、日々悩んでいます」と話され、仕事への強い意志と動物に対する深い愛情を感じました。そんな滝田さんの休日の楽しみは温泉巡りや、青と白のコントラストで日本画の最高の匠と呼ばれている東山魁夷の画集や永田萠のイラスト画集の鑑賞だそうです。

日本にいる動物の中で最も強いと言われる熊たちと共存し、優しく接しているお二人と話していると、素直に熊の生活に合わせているその自然さが、飼育という枠を超え、友情をすら感じさせ、人間の心の広さを教えられる訪問となりました。

湯のまちの若者たち

インタビュー

開湯150年を迎えた登別温泉には、先人の功績を引き継ぎ、さらなる登別温泉の発展のため、日々がんばっている若者たちがたくさんいます。

今回は、その中から、５人の若者たちにインタビューを行いました。

東西東西、一八でござんす！！

高崎　晴美さん

伊達時代村の花魁の芝居小屋にいくと『オソオセヨ（いらっしゃい）』と韓国語でお客さまを招き入れている遊び人風の町人、一八に会いました。

日本で５人しかいなくなった幇間（太鼓もち）を演じる一八こと高崎晴美さんは、小柄ですが元気印の女性で、「演技の幅が広がる太鼓もちの一八は演じがいがあります」と笑顔で応対してくれました。

名古屋から登別に来てもう10年が過ぎ、登別は第二のふるさと。「自然が美しく、仕事の疲れを癒す『温泉』は最高です」と絶賛しています。そんな彼女のもうひとつのとっておきの場所は、遠く見渡せる美しい海岸線です。休みの日、ドライブで海を見ながら走る瞬間は至福の時で、浜風の心地良さは何ものにもかえがたい癒しを感じるそうです。

近ごろは海外からのお客さまも多く、わたしたちが取材をした時も、大盛況の芝居小屋の中は、韓国人８割、日本人２割という割合で、一八の軽妙洒脱な韓国語によるジョークが大うけでした。

一八さんは、「もっと演技に磨きをかけ、いろいろな言葉で観光客の方々に『お笑い』を提供していきたいです」とこれからの目標を力強く語ってくれました。

名品に若い笑顔あり！

細川　由起さん

温泉市場で働く細川由起さんは若いけれども、5年勤務のベテランの店員さんです。お店の中では、観光客が近海で上がったカニなどの水産物が泳いでいる大きな水槽をのぞき込んでいます。誰からも好感をもたれるかわいい笑顔の秘密を知るため、話を聞いてみると、「商品の販売の時だけではなく、後から電話をいただいたり、メールで感想をいただいたりという双方向の対話が、自然と販売を楽しいものに変えてくれた」と話してくれました。「友人と遊ぼうとすると、休みの時が働きどきで、なかなか一緒に遊べないし、一番温泉が盛り上がる地獄まつりの時も、楽しむよりは一所懸命働くときですよ」と語りながらも、「でも、おまつりの後の後片付けなど、まちの人みんなで協力してやっている姿を見ると、温泉の温かさを感じ、自分もここでずっと働いていきたいという元気がわいてきます」と話してくれました。登別の土産品には若者の笑顔があることを発見しました。

わさびの辛さは本物志向

藤崎　一夫さん

温泉の極楽通りで90年にわたってわさび漬けを販売している藤崎わさび園の長男、一夫さんにお話を伺いました。藤崎さんは、高校と大学以外は、ずっと温泉で過ごされたそうで、生粋の温泉ッ子です。開湯150年のイベントでオープニングのときには、鬼に扮してさっそうと泉源公園から飛び出してきました。

ほかのまちから温泉に帰ってきて、最初にやっぱりわがまちだと感じるのは、一杯の水を飲んだときだそうです。実は、わさびはきれいな水の中でしか育たなく、出来の良しあしは『水』次第なのだそうです。あまり知られていませんが、他地域の名水をも上回る絶品の水が、登別にはあるのだそうです。

これからも、イベントなどで知り合ったまちの仲間の皆さんと親交を深め、登別温泉を活性化させていきたいと語る藤崎さん。丹精込めて作ったわさび漬けを食べ『辛いけどおいしい！』と少し涙目でお客さまが言ってくださるのが、最高の喜びのようです。

地獄の鬼は辛党です！？

飯島　茂さん

地獄は何丁目までつながっているのか、その都度記録が更新されている『味の大王』を訪問しました。南蛮で真っ赤な地獄ラーメンを作っている調理人は、若くて物静かな青年、飯島茂さんでした。お父さんのあとを継ぎ、10年間、繁盛しているラーメン店を切り盛りしています。話を伺うと、東京や京都では、ロシア料理店に勤め、洋食を作っていたそうです。

そして、登別に帰ると待ち構えていたように、熊舞をやろうと仲間に誘われ、今では、熊舞や鬼花火の時の太鼓のリーダーとして活躍していることが分かりました。

最初は、熊舞を踊るみんなの後をついてまわり、しっかりと伝統の技を自分のものにしたようです。「お店は父との二人三脚ですが、熊舞や鬼花火を始めて一気に付き合いがまち全体に広がりました。昔は、少なかった跡継ぎの方々も増え、メンバーも充実してきましたよ」と語ってくれました。飯島さんたち温泉の若者が作るまちづくりの味は、辛いばかりではなく、甘味や酸味が効くマルチで国際色あふれたものに変わろうとしています。

特集 のぼりべつに必要なもの

～第3回全国大学政策フォーラムin登別～

8月11日(月)から13日(水)までの3日間、自治体政策を学ぶ大学生・大学院生が登別市に集い、市民との交流やフィールドワークを通してまちづくりの実態を学び、自治体政策などについての提言とフォーラムを行う『第3回全国大学政策フォーラムｉｎ登別』が開かれました。

今月号では、その内容についてお知らせします。

全国大学政策フォーラムとは

地方自治体は、地方分権改革の進展に伴い、担う役割と責任が大きく拡大している中で、抜本的な打開策をなかなか見いだすことができない財政問題や少子高齢問題など、さまざまな問題を抱えています。

一方、全国の大学では、こうした社会の要請に応えるため、政策系大学院や学部が年々増加する傾向にありますが、社会という実際の現場を検証した上での政策を提言する機会はほとんどありませんでした。

そのため、一昨年から同志社大学をはじめとする全国の大学や登別市議会、登別商工会議所、登別観光協会、登別市などが実行委員会を組織し、登別市を会場として政策の議論を行う『全国大学政策フォーラム』が開催されています。このフォーラムは、回を重ねるごとに、参加大学やグループ数も増え、大学生の政策発表の場として盛り上がりを見せています。

第1回では『登別市の観光政策を考える』をテーマに、第2回では『登別らしさを政策に～のぼりべつ発見の旅～』をテーマに、さまざまな政策提言が発表されました。

のぼりべつに必要なものを知るために

今年のフォーラムには、岩手県立大学、日本大学、埼玉大学、立教大学、首都大学東京、同志社大学、龍谷大学から学生・教授など66人、11グループと若手市職員4人で構成する1グループが参加しました。

1日目は、婦人センターで、初めての試みとなる『商工・観光』『民生・保健・福祉』『まちづくり・教育』の3テーマによる分科会が行われ、市職員や市議会議員、それぞれのテーマの関係者、学生による意見交換を行いました。その後、市内一円をバスで視察し、夜には交流会が開かれました。

2日目は、市役所本庁舎を拠点に、グループ提言の資料収集のため、市職員やホテル、温泉街の商店、まちづくり団体などにインタビューを行いました。

3日目は、各グループが政策提言を行ったほか、同志社大学教授をコーディネーターに迎え、入賞したグループやまちづくり団体の代表など7人をパネリストにフォーラムが行われました。

学生ならではの視点からさまざまな政策提言を

各グループの提言では、『Ｑｕｅｓｔ！のぼりべつに必要なもの』をテーマに、さまざまな視点からユニークな政策提言を行いました。

それでは、グループ提言とフォーラムの一部を紹介します。

グループ提言　発表一覧

発表順	賞	大学名	ゼミ名	発表テーマ
1		登別市若手職員チーム		登別市に必要なもの
2		首都大学東京	羽貝ゼミ	地域と学校の協働
3		同志社大学　生命医科学部医工学科　バイオメカニクス研究室＆政策学部　風間ゼミ		KOI（こい）のぼりべつ ～のぼりべつインパクトシティ構想～
4	登別市議会議長賞	立教大学コミュニティ福祉学部	原田ゼミ	のぼたま大作戦!!ワン・ツー・スリー　ダァ!!
5	優秀賞	埼玉大学経済学部	斎藤ゼミB	再発見！登別の魅力～Take Photo in Noboribetsuプラン～
6	優秀賞	埼玉大学経済学部	斎藤ゼミA	つながる子育て支援の“わ”
7		日本大学法学部	外山ゼミナール	☆きらり☆と輝く登別ニューフロンティア計画
8		同志社大学	真山ゼミ	登別観光の玄関口は『登別温泉駅』に
9	登別市長賞	龍谷大学・同志社大学	冨野・今川ゼミ	登別改革論～人「財」育成、このままでいいの？～
10		岩手県立大学総合政策学部	田島ゼミ	登別ボランティア基金～エンマ基金～
11		日本大学法学部	福島ゼミナール	まちおこしから鬼おこしへ～世界都市への第一歩～
12	最優秀賞	同志社大学大学院 総合政策科学研究科	今川ゼミ	地域が一体となった登別温泉観光に向けて

最優秀賞

同志社大学大学院総合政策科学研究科　今川ゼミ
『地域が一体となった登別温泉観光に向けて』

わたしたちが考える登別温泉の課題は、温泉地域以外の住民にとって登別温泉との距離感があるということです。つまり、市全体が一体となった観光ができていないということです。

この課題の解決策として、現代版湯治であるヘルスツーリズムによる地域の一体化をわたしたちは考えました。ヘルスツーリズムとは健康志向の長期滞在型の旅行形態のことです。

導入により期待される効果としては、第１に健康志向という付加価値を付けることで、市民の利用の促進を図ることができます。

第２として、地元の食材を使った健康な食材を提供することで、地産地消が促進されます。

第３として、長期滞在が基本ですので、市内の各スポーツ施設などを利用していただくことができ、温泉地域以外の地域に経済効果が波及します。

第４として、地域住民だけでなく、温泉観光に対する意識が変わってきている新たな個人利用の顧客を開拓できます。そして、長期滞在型旅行のニーズが高い欧米人の旅行客を呼び込むことができます。

そこで、ヘルスツーリズムについての提言です。

まずは、どういう温泉に入ったらどういう効能があるかを案内できる温泉アドバイザーを育成します。

それから、健康志向で長期滞在をしてもらうため、安価な宿泊施設や宿泊プランを作ります。そして、いろんなお湯に入れるように外湯を増やすか、あるいは内湯を外湯化します。

また、市民との協働という観点から、登別温泉で健康をテーマとした食育・郷土史・温泉学などの生涯学習を行うことで、いろんな交流がまちの中に生まれてくると考えます。

地域の意識が一つになる。これが今回提案させていただいた提言の一番の要点です。市民とのかかわりのない観光地は、必ずその先、行き詰まると思います。そのため、市民と一体となったまちづくり。そしてキーワードとして健康づくりを提案させていただきました。

優秀賞

埼玉大学経済学部　斎藤ゼミA
『つながる子育て支援の“わ”』

現在、登別には子育てを応援・支援する制度が多数存在しますが、これらは個別の選択であり、つながりがゆるいとわたしたちは考えました。子育てをする上で、さまざまな政策のつながりが弱いとサービスを受ける際に不便となることや、きめ細やかなサポートが難しく、子育てへの不安が取り除かれにくいと思われます。そこで今回提言するのは、子育てへの不安、疑問の解消・軽減を目指すきめ細やかな子育て支援プランです。

まず、もっと市民が使える情報共有の場として、会員制の地域ＳＮＳ（人と人とのつながりを促進・サポートする、コミュニティ型のＷｅｂサイト）を作り、子育てママが子育ての悩みを共有し、共に解決する糸口を作ります。

次に、赤ちゃんスペースという授乳やオムツ換えが可能なスペースを公共施設やレストランなどに設置し、子育て中の親が気軽に外出でき、交流できる環境を作ります。

そして、既存の子育てサロンはそのままに、温泉地での子育てサロンの実施や、合同サロンを開催します。このサロンへの移動手段としては、無料の子育てバスを運行します。また、既存のファミリーサポートについても、援助会員と依頼会員の交流会を同時に開催することで、地域全体で子育てを通した交流の“わ”が生まれるものと考えます。

優秀賞

埼玉大学経済学部 斎藤ゼミB

『再発見！登別の魅力
～Take Photo in Noboribetsuプラン～』

わたしたちが登別に今必要なものとして考えたのは、全国有数の温泉地である市民としての意識を持つことと、登別の魅力を再発見するための仕組みづくりです。

これらを実現するため、わたしたちは『ＴＰＮプラン』という市民主体の写真コンテストを提案します。

なぜ写真コンテストなのかというと、現在ではデジタルカメラや携帯電話などが普及し、だれでも気軽に参加できるイベントだと言えるからです。また、登別を被写体として写真を撮ることによって、市民が登別の魅力を再発見できると考えました。

写真コンテストは市民や観光客、市が参加運営にあたります。集まった写真は写真博物館やストリートギャラリーに展示し、また広報紙やホームページなどに掲載するという形で運営していきます。審査には市民も参加できるようにし、団塊の世代や学生を対象とした現像体験やモデル体験、写真講座などのイベント企画を立て、同時にコンテストをすることで市民の参加を促すことができます。

写真コンテストという取り組みやすい手段で、市民が主体となり観光客と交流することによって、そこから『写真のまち』という新しい文化が深化・定着へとつながっていくものと考えます。

登別市長賞

龍谷大学・同志社大学 冨野・今川ゼミ

『登別改革論－人『財』育成、このままでいいの？』

わたしたちは、登別に必要なものとして、登別市のまちづくり基本条例を根付かせ、協働を柱としたまちづくりを推進していくことができるように、長期的な視点からの人『財』育成を図ることが必要だと考えました。そのための手段として、『中学生まちづくり会議』を提案します。具体的には、中学生が市政への関心や疑問について調査した結果をまちづくり会議において報告します。

なぜ、まちづくり会議かというと、登別市には、この全国大学政策フォーラムを行っている実績があるからです。そして、若い世代が市政に疑問を持ち探求する学習機会の提供にもつながります。

中学生を対象としたのは、事前にわたしたちの大学でアンケート調査を行った結果、まちに対して疑問を持ち、問題を考えるようになった時期について、49％と約半数が中学生・高校生の時期と回答したからです。また、中学校は課外活動が活発だということがあります。まちづくり会議においても、課外活動になりますので、その土台があると言えます。さらには、市立の中学校であるため、登別市の創意工夫を反映させることができると考えました。

人『財』育成という観点以外での波及効果として、まちを見ることにより郷土愛の育成が図られます。

つまり、故郷登別市を出て行っても、登別は良いまちだということが全国へＰＲされ、口コミによる市への集客が期待できます。そしてまちづくり会議を行うことで、世代間や地域間などのさまざまな交流の促進が図られると考えます。

登別市議会議長賞

立教大学コミュニティ福祉学部 原田ゼミ

『のぼたま大作戦!! ワン・ツー・スリー ダァ!!』

わたしたちは、近年、深刻に進む高齢化社会の中で、高齢者を支える地域住民と高齢者自身とが、いかに生きがいを作れるような場所を整えるかが必要だと考えました。

現在、登別でもさまざまな取り組みが行われていますが、もっと枠にとらわれない基盤が今後求められていくと感じました。バラバラだった市民のニーズに対応する機関を一元化して行うことで、高齢者地域住民の積極的な社会参加を促す仕組みにします。

それが、登別たまり場事業、通称『のぼたま事業』です。この『のぼたま事業』は３つあります。

一つ目はニーズの把握です。どこに相談していいのか分からなくて顕在していたニーズをカテゴリーや制度の枠をなくすことによって、声を取り込みやすくします。例えば市内にある公民館や空き店舗などを利用して、たまり場というものを作ります。

二つ目は人材発掘です。ボランティアをしたい、何か自分の特技を活かしたい、能力を社会のために活かしたい市民を行動に移しやすくします。シルバー人材センターやボランティアセンターなどの機能をここで一つにまとめます。

三つ目は事業化支援です。個人単位やグループ単位で行っている市民活動を、さらに積極的な取り組みをする団体になることを支援したいと思います。

この『のぼたま事業』を行うことにより、市民満足度の向上やまちの活性化、雇用などの効果や、高齢者にとっても生きがいやコミュニケーションづくりなどのさまざまな効果が生まれると考えます。

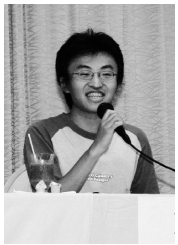
フォーラムは、同志社大学政策学部教授をコーディネーターに迎え、登別市市民自治推進委員会会長と社団法人登別室蘭青年会議所副理事長、グループ提言で入賞したチームの代表5人をパネリストに行われました。

ここでは、その内容の一部を紹介します。

同志社大学政策部教授
真山　達志さん

登別市市民自治推進委員会　会長
田中　寛志さん

登別室蘭青年会議所副理事長
和泉　薫さん



同志社大学大学院今川ゼミ代表
増田　知也さん

真山さん　今回受賞されたチームは、観光よりも、少子高齢化や地域社会を問題にしたチームが受賞率が高かった気がします。こうした問題に取り組んだ星賀さんは、登別の地域社会についてどのように感じましたか。

星賀さん　登別は社会福祉協議会が中心となって、高齢者の支援事業にすごく熱心に取り組まれているという印象を受けました。それと同時に、自分から何か事業を起こせるような主体的に行動できる場所がもう少し必要な印象を受けました。

真山さん　斎藤さんは逆に子育てや子どもたちに焦点を当てましたが、自分の身近と比べて登別の場合、子どもを取り巻く環境はどうですか。

斎藤さん　地元は埼玉ですが、登別の方が自然環境に恵まれている点と、温泉組合も小学生を対象に無料で入浴体験を行ったり、環境的には恵まれていると感じました。

真山さん　地元の方としてはどうお考えですか。

田中さん　子育てに関しては、他市と比べても遜色のない環境があり、自然環境についても非常に良いと思います。ただ、子どもを安心して産めるまちづくりについて、同時に考えていく必要があると思います。

真山さん　そういった少子高齢社会を支えていく自治の基本形として、自治基本条例を中心に検討された大空さんは、条例が市民に浸透した状態というのは、どういう状態を理想として考えますか。

大空さん　『まちづくり基本条例』の理念を、市民自体が理解し、それに対して考えることができれば、十分に浸透されたと言えると思います。そういった市民の相互理解を深めるような仕組みが必要だと思います。

真山さん　若者の自治やまちづくりに対する思いについて、実際の活動の状況はどうですか。

和泉さん　青年会議所では、現在、市内の高校生を対象に、いろいろな事業を行っていますが、実際に自分で汗を流して初めて意識が変わっていくものだと思います。先ほどの市民自治の条例についても、やはり知ってもらうためには関わることが大切だと思います。

真山さん　もうひとつのメインテーマである観光や温泉について、関さんの提案をこれから具体化するためには、何をしていくべきですか。

関さん　わたしたちの提言は、継続することがたぶん一番難しいと思っています。継続することで、その地元の慣習から文化に発展してほしいと思います。

真山さん　同様に観光や温泉の問題で最優秀賞を受賞された増田さんは、実際に登別温泉の経営形態や組織構造を考えたときに、新しいタイプのツーリズムが実現できると思いますか。

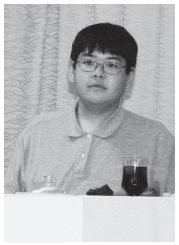
増田さん　わたしたちの提案は、何か新しい施設を作らないと実現できないわけでありません。市民の方の問題意識はものすごく前向きでしたし、期待を込めて今回提案させていただきました。

今回の全国大学政策フォーラムでは、12のチームが今の『のぼりべつに必要なもの』について考え、さまざまな提言をしていただきました。

これらの提言の中には、『市民や地域が一体となって』というキーワードが多くのチームから挙げられていました。これからの登別が元気で魅力のあるまちになるためには、市民や地域が一体となって『まちづくり』に取り組むことが一番大切ではないでしょうか。

埼玉大学
斎藤ゼミA
関　佳奈子さん

埼玉大学
斎藤ゼミB
斎藤　幸雄さん



同志社大学
今川ゼミ
大空　正弘さん

立教大学
原田ゼミ
星賀さとみさん

問い合わせ　企画グループ　☎85 1122
Eメール：kikaku@city.noboribetsu.lg.jp

男女共同参画社会をめざして

あなたも、わたしも、自分らしく!!

君と僕 互いの力 生かし合う 共同参画パートナー
（男女共同参画社会づくり一行最優秀賞）

豊かで活力のあるまちづくりを進めていくためには、男女が多様な生き方を認め合い、喜びも責任も分かち合いつつ、あらゆる場で能力を発揮し、活躍できる男女共同参画社会を実現することが必要です。

今月号では、市の取り組みや市民団体の活動、制度改正などを紹介します。

◎男女共同参画社会とは

男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思で社会のあらゆる分野の活動に参画する機会が保障され、それによって利益を受け、共に責任を担う社会です。

◎市の取り組み

平成8年に策定した登別市総合計画で『女性もともに参画する地域社会づくり』を掲げ、平成9年から市民の参画を得ながら、男女共同参画の啓発や計画策定に向けた取組みを進めています。平成14年9月には『登別市男女共同参画基本計画（のぼりべつ・はぁもにいプラン21）』を策定しました。

この計画は、

1. 男女の人権が尊重される社会の実現
2. 男女があらゆる分野に参画することができる社会の実現
3. 雇用などの分野における男女平等の実現
4. 健康的な生活を生涯にわたって送られる社会の実現の4つを基本目標としています。

ご存じですか？配偶者暴力防止法

配偶者からの暴力に係る通報や相談、保護、自立支援などの体制を整備し、配偶者からの暴力の防止と被害者の保護を図ることを目的とする法律です。

被害者が男性の場合もこの法律の対象となりますが、被害者は、多くの場合女性であることから、女性被害者に配慮した内容の前文が置かれています。

平成20年1月に法改正があり、電話等禁止命令など保護命令制度が拡充されました。

詳しくは内閣府のホームページ http://www.gender.go.jp/e-vaw/index.htmlへ

女性に対する暴力根絶のためのシンボルマーク

北斗市の男女共同参画プラン推進協議会が視察研修に訪れました

9月11日㈭、市役所に北斗市の男女共同参画プラン推進協議会が視察研修に訪れ、登別市における男女共同参画社会実現への活動状況について情報交換が行われました。

◀活発に行われた情報交換

民間シェルター（ＮＰＯ法人ウィメンズネット・マサカーネ）にご相談ください

民間シェルターは、夫や恋人の暴力から逃げ出してきた女性や子どもを一時的にかくまい、安全を確保し、再出発のための法的手続きサポートや、住居・仕事など生活に必要な条件を整える支援と精神的なサポート、ＤＶのほか女性や子どもに関わる人権事務所としての相談業務を行っています。

	平成17年度	平成18年度	平成19年度
シェルター利用者数	53人	70人	64人
うち登別市民（うち同伴者の子ども）	13人（6人）	8人（4人）	14人（8人）
シェルター延利用日数	675日	559日	569日
相談件数	2,714件	2,914件	3,610件
うちDV・離婚関係	1,240件	634件	2,219件

※相談件数には、電話による相談も含まれています。

虐待や暴力で悩んでいる方はご相談ください
ＮＰＯ法人ウィメンズネット・マサカーネ
月から金曜日までの10時～16時（緊急時・休日･夜間は携帯も可能です）
☎㉓４４４３
携帯090－1383－5049

市民団体紹介

「プラタナス」

「三市合同国内女性派遣研修」に登別市から参加した有志が、研修で学んだことを地域の活動に活かすため、平成17年４月に「プラタナス」（会長：安達陽子）を設立し、今年度は10月27日㈪に「国境を越えた愛に触れて」と題した那珂きよ子氏の講演会が行われました。

また、12月16日㈫には、市民会館において洞爺湖在住の三浦敦子氏をお迎えしての講演を予定しています。

＜問い合わせ：安達さん☎㉕７８４５＞

◀例会（８月18日開催）の風景『介護食とかろやか体操』

のぼりべつ男女平等参画懇話会

平成14年５月に設立した『のぼりべつ男女平等参画懇話会』（代表：合田美津子）の主な活動は、『女性と学習・次世代育成情報誌』を教材にジェンダー（社会的性差）の学習を月例で開催しています。

継続事業は『ビデオフォーラム』『会誌発行』と、新たに『誰でもわかるやさしい男女平等参画セミナー』を６月から11月までの５回に分けて開催中です。少人数での語り合いから理解や意識を共育ちしたいとの思いで取り組んでいます。

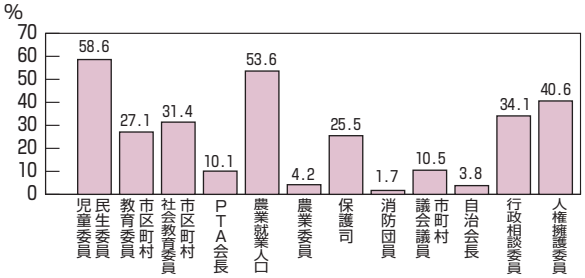
＜問い合わせ：合田さん☎㉕５６７１＞

◀セミナーの風景

女性が中心的役割を果たす地域活動の重要性が増しています

経済的、社会的活力の低下や地域におけるつながりが希薄化する中、①地域の実情に合致した主体的な取り組みにより、②多様な主体や新しい視点を活かし、③地域に波及・浸透効果をもたらすという意味で女性が中心となって活躍する地域活動は一層重要性を増しています。

グラフは地域において活躍する女性の割合です。



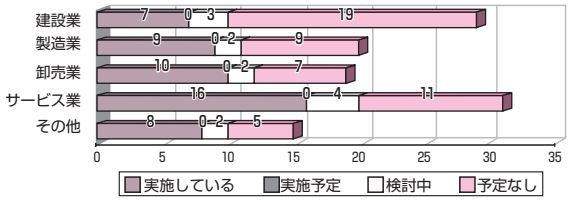
参照：内閣府発行『共同参画』2008年７月号

介護休業制度の実施状況

登別市の業種別では、サービス業の実施している割合が高い。

区分	事務所数	実施している	休業中の補償			内訳		
			有給	一部有給	無給	実施予定	検討中	予定なし
建設業	35	7	2	3	2	0	3	19
製造業	23	9	3	0	6	0	2	9
卸小売業	20	10	1	2	7	0	2	7
サービス業	32	16	7	2	7	0	4	11
その他	15	8	2	1	5	0	2	5
合計	125	50	15	8	27	0	13	51

業種別介護休暇制度状況



参照：平成19年度『労働基本調査』

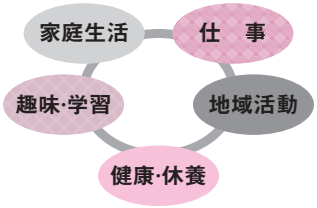
問い合わせ
市民サービスグループ
☎㉕２１３９
Eメール：shiminka@city.noboribetsu.lg.jp

ひとつ「働き方」を変えてみよう！

カエル！ジャパン

『仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）』とは？

- 誰もが、仕事、家庭生活、地域活動、個人の自己啓発など、さまざまな活動を自分の希望するバランスで実現できる状態のことです。
- 仕事と生活の調和が実現した社会とは？
  - ・就労による経済的自立が可能な社会
  - ・健康で豊かな生活のための時間が確保できる社会
  - ・多様な働き方・生き方が選択できる社会



さわやかな汗で健康へダッシュ

～市民スポーツ・健康フェスティバル～

▲元気一杯走り抜けた駅伝大会

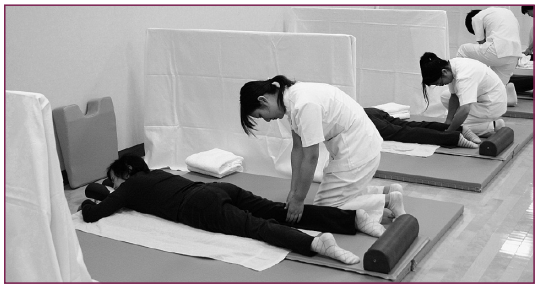
9月28日㈰、岡志別の森運動公園と市民プール『らくあ』で『市民スポーツ・健康フェスティバル』（市、文化・スポーツ振興財団主催）が開かれました。

この催しは、スポーツなどを通して市民の健康増進を図ることを目的に開催されています。

岡志別の森運動公園では、パークゴルフやソフトボール、キンボール、駅伝の各大会を実施。ジャベリックスローやホールインワンゲームといった体験コーナーも設けられ、多くの参加者が体力作りに汗を流しました。

1チーム5人がタスキをつないで公園外周1㌔を走る駅伝では、小学生12チームがエントリーし、家族や友人の応援の声を背中に受け、精一杯走り抜いていきました。

市民プールでは健康を中心としたイベントが組まれ、日ごろの食事メニューをもとに保健師から助言を受ける健康・栄養相談やトレーナーのアドバイスによる効果的なトレーニング、開始と同時に行列ができた日本工学院北海道専門学校の生徒によるボランティアマッサージなどが行われました。



▲人気の高かったボランティアマッサージ

清掃活動を通して、自然の大切さを学ぼう

～富浦海岸の清掃と地引網体験～

9月27日㈯、富浦海岸で『富浦海岸の清掃と地引網体験』（登別市子ども地域交流プラザ運営委員会主催）が行われ、市内の小学生や幼稚園、保育園児とその保護者約100人が参加しました。

この催しは、子どもたちに海や自然の大切さを学んでもらおうと、毎年この時期に行われているものです。

参加者は、1時間を掛けて海岸を清掃し、集められたゴミはトラックいっぱいになりました。

地引網体験では、漁師さんが引き寄せてきた地引網のひもを、子どもたちが「よいしょ、よいしょ」と一生懸命引き上げ、網からチカやフグなどのピチピチと跳ねる魚が表れると、子どもたちは珍しそうに触ったりしながら、自然の大切さを学んでいました。

海洋浴をしながら健康づくり

～第2回鷲別海岸海洋浴ウオーキング祭り～

10月11日㈯、鷲別漁港で『第2回鷲別海岸海洋浴ウオーキング祭り』（鷲別海岸イベント実行委員会主催）が開催されました。

この催しは、気になる生活習慣病の予防やストレスの解消、健康増進を図るとともに、鷲別海岸の魅力を再発見してもらおうと昨年から開催されているもので、今年は市民約320人が参加しました。

この日は快晴に恵まれ、開会式のあと準備体操を行い、元気に往復5㌔のウオーキングを行いました。

また、会場では健康測定コーナーや旬の海産物を使用したふるまいコーナー、お楽しみ抽選会、鷲別中学校の生徒によるマンドリン演奏などがあり、参加者は健康の秋を海洋浴をしながら楽しんでいました。

縄文の国へようこそ

～登別縄文どきどきまつり～

10月11日㈯、のぼりべつ文化交流館『カント・レラ』で、『登別縄文どきどきまつり』（市主催）が開催されました。

この催しは、縄文文化の体験を通して、その世界観や自然観などを学びながら豊かな心をはぐくんでもらおうと、今年初めて開催されました。

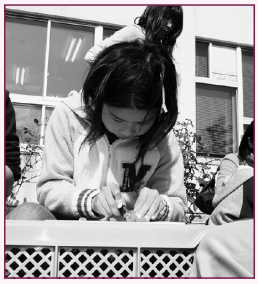
屋外では、黒曜石でナイフ作りや勾玉作り、土器の野焼き、火起こし体験などが行われたほか、館内では、ドングリクッキー作りや『縄文時代の狩猟と落し穴猟』をテーマにした縄文講演会が行われました。

『黒曜石でナイフをつくろう』では、黒曜石をシカの角で削り、最後にサケを試し切りして、自分の作ったナイフの切れ味を確認。参加者からは、「こんなに切れるなんてすごい」と驚きの声が上がっていました。

また、館内ではサケの入った縄文鍋や、ササとドングリの実をいって作った縄文茶が振舞われ、参加者は冷えた体を温め、秋の肌寒い中、元気に縄文文化を体験していました。

▲黒曜石でナイフ作り体験

▲火起こし体験



▲サケの試し切り

資格を取得して雇用促進

～自然ガイド養成講座～

10月２日㈭、ふぉれすと鉱山で『自然ガイド養成講座』（登別市雇用創造推進協議会主催）がスタートしました。

この講座は、登別の経済活性化と市民の雇用機会を増やすため、新しい登別観光の人材の確保と育成を目指して行われている事業の一つです。

講座には、定員いっぱいの20人が参加。毎週木曜日の計28回（全130時間）を来年３月まで受講し、北海道アウトドア資格（自然ガイド）の取得を目指します。

この日は、講習を主管するＮＰＯ法人ねおすの上田融（うえだ とおる）さんによるオリエンテーションが行われ、その後、第１回目として、講師の荒井一洋（あらい かずひろ）さんによる『ガイドの役割・責任』についての講義が行われました。

参加者は、配られるたくさんの資料に目を通し、真剣な表情で講義に耳を傾けていました。

となりまちをもっと知ろう！

～三市合同施設見学会～

10月３日㈮、登別・室蘭・伊達の三市の市民を対象とした『三市合同施設見学会』が行われました。

この見学会は、となりまちの理解と市民交流を深めようと昭和57年から開かれており、この日は登別市民４人、室蘭市民26人、伊達市民10人の計40人が参加し、登別市内の施設や観光地などを見学しました。

のぼりべつ文化交流館『カント・レラ』では、縄文文化体験『シカの角でアクセサリーづくり』を体験。泉源公園では、運良く間欠泉の噴出時に当たり、間近で噴き上がる間欠泉に歓声が上がっていました。

また、観光ボランティアガイドの案内で、１時間掛けて地獄谷周辺を探索。年配者が多く、途中音を上げる参加者もいましたが、最後に天然足湯につかると、「運動の後の足湯は最高」と満喫していました。

あなたは大丈夫？

危険な名義貸し

親しい人や取引先などから、「絶対に迷惑は掛けない」「売り上げの数字合わせのためだけ」などと持ち掛けられ、クレジットの契約書にサインをしたり、サインはしていないが、クレジット会社からの確認の電話に「はい」と返事をした。数カ月後、クレジット会社から突然、請求書が送られてきた。

友人から「いいバイトがある」と言われ、紹介された男性の話を聞くと「貸金業者からお金を借りてくればアルバイト料を支払う。借りたお金もこちらで返済する」と言われた。指定された貸金業者からお金を借りて、お金とローンカードを男性に渡しアルバイト料をもらった。数カ月後、貸金業者から支払いの督促を受けた。

この手口はいずれも名義貸しといって、クレジットの仕組みをよく知らない消費者や、若者をターゲットにクレジット契約を結ばせたり、アルバイト感覚でお金を借りさせ、数カ月経過後に契約者本人へ請求がいくという仕組みです。

○クレジット会社の電話の意味

クレジット契約を申し込む場合、クレジット会社は契約当事者に電話をして、契約内容などを確認します。その際、深く考えずに「はい」と答えてしまいがちですが、クレジット会社はこの電話のやり取りによって、代金を支払う意思を示したとみなし、販売店に代金を支払います。心当たりがない場合は、はっきりと断ることが肝心です。

○問われる名義人の管理責任

名義やカードを他人に貸した場合、それによって生じた支払い義務は原則として名義人にあります。だまされたとしても、名義人が支払いを果たした上で、本当に使った人に請求するしかありません。たとえ知人に頼まれたとしても、絶対に応じてはいけません。

▼問い合わせ　市民サービスグループ（☎85-3491）

仲間たち Group

パソコンボランティアプラザ登別

パソコンは、障がいのある方のバリアフリーへの架け橋です

『パソコンボランティアプラザ登別』は、IT講習会で講師を務めた方や室蘭のパソコンサークルの会員を中心に、障がいのある方へのパソコン導入活用のサポートを行うため、平成15年4月に設立されました。

現在、会員は43人。しんた21を拠点として、毎月第2土曜日に体に障がいのある方へのパソコンの導入や活用の助言・指導、第3金曜日に会員の学習などの例会を開いています。また、最近では講演会などのパソコンによる要約筆記やパソコンキッズプラザの開催など、その活動の幅を広げています。

障がい者の方は家にこもりがちですが、パソコンは家にいながらにして情報を得ることができる貴重な手段です。障がい者の方にこそ、もっとパソコンを使ってほしいですね」と話すのは、会長の榎本吉幸さん。

「会での活動のほか、会員同士メール交換をしたり、年1回はレクリエーションに行ったりしながら交流を深めています」と榎本さんは会の様子を話してくれました。

設立当初から入会している高橋良夫さんは、「わたしは全盲ですが、サポート会員の皆さんにはとても助けられています。視覚障がい者にとって、一番困ることは情報が得られにくいことですが、パソコンを習得することによって、多くの問題が解消できました。パソコンを使って視覚障がい者にも就職の機会を広げていきたいですね」と笑顔で話してくれました。

入会を希望される方は、榎本さん（☎090-8637-4370）、工藤さん（FAX45-2726）までどうぞ。

▲音声ボランティア講習会の様子

夜間、土曜日に市税や水道料金などの納税相談・納入窓口を開設します

▼区分・月日・時間

区分	月日	時間
夜間	11月27日(木)	20時まで
	11月28日(金)	
土曜日	11月29日(土)	9時から17時まで

▼場所　①市税・給食費・公営住宅料・保育料など…税務グループ（市役所本庁舎1階3番窓口）、②水道料金・下水道使用料…水道グループ（市役所第2庁舎1階）

▼問い合わせ　①税務G（☎㉟1155）、②水道G（☎㉟5501）

冬の踏切事故に気を付けましょう

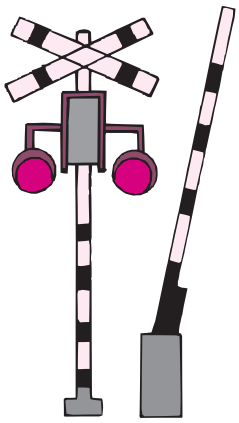
冬の踏切事故は、夏の3倍も発生しています。

冬は次のことに注意しましょう。

●踏切に近づいたら路面状況に応じ、確実にいったん停止できるスピードに落としましょう。

●踏切内で立ち往生したら、非常ボタンを押したり、自動車に備え付けの発炎筒などを使用したりして列車に合図しましょう。

●踏切内に閉じ込められたら、遮断ポールを自動車などで押して脱出しましょう。



▼問い合わせ　市民サービスG（☎㉟2139）

11月・12月は市税滞納者に対し共同催告書を発送します

11月・12月は市税の滞納整理強化月間です。

北海道と共同して市税を滞納している方に対し催告を行い、市が徴収を行うほか、悪質な滞納者については北海道に対し徴収を委託し、北海道が滞納処分を行います。

具体的な滞納処分としては、預貯金・給与・年金・生命保険・家賃・売掛金などの債権差し押さえのほか、不動産の差し押さえ、タイヤロック（軽自動車、普通車など車種を問いません）、家電製品や絵画などを差し押さえ後にインターネットで公売したり、場合によっては自宅や事務所などの捜索を行う予定です。

諸事情により市税の納入が困難な場合は、必ず税務グループへご相談ください。

▼問い合わせ　税務G（☎㉟1155）

『▼申し込み』『▼問い合わせ』中の『G』は『グループ』の略です

情報あらかると

11月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23 30	24	25	26	27	28	29

12月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

くろーずあっぷ

⑱ クリンクルセンターからのお知らせ
⑲ 子育て支援センターからのお知らせ
⑳ しんた21からのお知らせ
㉒ 郷土資料館からのお知らせ
㉔ 社会教育グループからのお知らせ
㉕ ふぉれすと鉱山からのお知らせ
㉖ 文化・スポーツ振興財団からのお知らせ
㉝ 平成20年9月末の財政状況をお知らせします

毎月のお知らせ

⑱ 12月の粗大ごみ収集
㉑ 健康相談・診査
㉓ 無料法律相談・くらしの無料相談・そのほかの相談
㉗ 11月中旬～12月上旬の市立図書館行事
㉗ 11月の歯科救急医療
㉟ 今月の新着図書
㉟ 不用品ダイヤル

忘れずに納めましょう ～納期限は12月1日(月)です～

市民税・道民税（第3期）と国民健康保険税（第6期）、介護保険料（普通徴収第5期）の納期限は12月1日(月)です。

納税には、便利な口座振替制度もありますので、ご利用ください。

▶問い合わせ　税務G（☎㉟1155）、国保・年金G（☎㉟1771）、高齢・介護G（☎㉟5720）

クリンクルセンターからのお知らせ

“テナーサックスとピアノの魅惑の夕べ”の演奏会を開催します　～登別環づくり市民委員会主催～

▶**日時**　11月11日㈫　開場18時　開演18時30分
▶**場所**　クリンクルセンター市民ギャラリー
▶**内容**　テナーサックス杵渕明（きねぶちあきら）さんと、ピアノ佐伯實（さえきみ）佐夫（さお）さんを迎えた演奏会
▶**演奏曲**　『夕日にあかい帆、ダニーボーイ、夜霧よ今夜もありがとう』など
▶**定員**　200人（先着順）
※入場には、11月４日㈫から10日㈪（土・日曜日を除く）まで、クリンクルセンターで配布する入場券が必要です。

守っていますか？飼い主のマナー

▶**犬のふんの放置が問題になっています**
◎散歩時のふんなどで隣近所や道路、公園などが汚され人々に迷惑を掛けることとなります。散歩時のふんは、必ず持ち帰り、適正に処理をしましょう。雨水ますに捨てたり、シャベルなどで埋めるのは、絶対にやめましょう。
◎ふん、尿のにおいは、飼い主が感じる以上に周囲の方々には大変迷惑になります。飼育場所などは、常に清潔にしてにおいが発生しないように努めましょう。
◎散歩時のリードの長さに注意し、人に迷惑が掛からないようにしましょう。また、放して運動させるのは絶対にやめましょう。

▶**猫は屋内で飼いましょう**
◎猫を放し飼いすると、隣近所や道路、公園などでふんをしたり、鳴き声などで、迷惑を掛けるだけでなく、交通事故に遭ったり、猫の伝染性の病気が流行し、接触感染の機会も多くなりますので、屋内で飼いましょう。
◎親切心で野良猫に餌をやると、繁殖し近隣で迷惑となりトラブルの元となりますので、絶対に餌をやらないようにしましょう。

野焼きはやめましょう

ごみの野外での焼却は『廃棄物の処理及び清掃に関する法律』で禁止されています。
また、家庭用小型焼却炉でのごみの焼却も禁止されています。
野外でのごみの焼却は、煙やすす、悪臭により周囲の方に迷惑を掛けるだけでなく、ダイオキシン類や塩化水素などの有害物質発生の原因になります。
ごみは、正しく分別してごみステーションに出すか、専門業者に委託するなどして、適正に処理しましょう。

『指定ごみ袋』と『し尿処理無料券』を交付します

市は、次の世帯に指定ごみ袋（燃やせるごみ30㍑用を20枚）とし尿処理無料券（くみ取り世帯が対象、１枚）を交付します。
▶**対象**
①重度心身障がい者在宅世帯（身体障害者手帳１・２級、療育手帳Ａ判定）
②知的障がい者（ＩＱ50以下）在宅世帯
③65歳以上の寝たきり老人在宅世帯（常時寝たきりの状態が６カ月以上）
▶**申請方法**　身体障害者手帳、療育手帳のいずれかと印鑑（朱肉を使うもの）を持参し、市民サービスグループ（市役所１階２番窓口）、各支所、クリンクルセンターで申請してください
※昨年度までに申請された方は、申請の必要はありません。
▶**申請期限**　平成21年３月31日㈫

12月の粗大ごみ収集

▶**申し込み**　㈲登和清掃（☎㊽０２００）
※申込期間（土・日曜日、祝日を除く）の９時～17時に電話でお申し込みください。
※電話のおかけ間違いのないよう、十分ご注意ください。

地区名	収集日	申込期間
新生町３・４丁目	12月１日㈪～12月６日㈯	11月17日㈪～11月28日㈮
鷲別町１～３丁目	12月８日㈪～12月13日㈯	11月25日㈫～12月５日㈮
新生町１・２丁目	12月15日㈪～12月20日㈯	12月１日㈪～12月12日㈮

※粗大ごみの収集は、電話で受け付けしています。
※粗大ごみは、１品ごとにごみ処理券（１枚160円）を張って出してください（１回につき５品まで）。
※粗大ごみの収集日は、『家庭ごみ収集カレンダー』にも掲載しています。また、今後の『広報のぼりべつ』でもお知らせします。

問い合わせ　環境対策グループ（クリンクルセンター内☎㊺２９５８）

『▼申し込み』『▼問い合わせ』中の『G』は『グループ』の略です

子育て支援センターからのお知らせ

移動子育て支援センターを開催します

▶月日・時間・場所

月　日	時　間	場　所
11月12日㈬	10時～12時	鷲　別　公　民　館
11月19日㈬		若草放課後児童クラブ（若草小学校内）

※直接会場にお越しください。
▶**対象**　市内に居住する小学校入学前のお子さんとその保護者
▶**内容**　絵本と遊具を使った自由遊びなど
▶**持ち物**　上靴（子ども・保護者とも）
▶**問い合わせ**　中央子育て支援センター

お父さんと遊ぼうを開催します

▶**日時**　11月22日㈯　10時～12時
▶**場所**　登別子育て支援センター
▶**対象**　小学校入学前のお子さんとそのお父さん
▶**内容**　絵本や遊具を使った自由遊びなど
※直接会場にお越しください。
※駐車場があります。
▶**問い合わせ**　登別子育て支援センター

『親子であ・そ・ぼ』ミニミニオリンピックを開催します

▶**日時**　11月28日㈮　10時～12時
▶**場所**　婦人センター２階
▶**対象**　市内に居住する１歳６カ月～小学校入学前のお子さんとその保護者
▶**定員**　30組程度（申込順）
▶**参加料**　無料
※動きやすい服装でご参加ください（外靴で入れます）。
▶**申し込み**　11月５日㈬から10日㈪まで（日曜日除く）に電話（９時～17時・土曜日９時～12時）で登別子育て支援センター

保育所に遊びに来ませんか

▶月日・場所

月　日	場　所
12月３日㈬	鷲　別　保　育　所
12月４日㈭	幌　別　東　保　育　所
	富　士　保　育　所
	栄　町　保　育　所
12月５日㈮	登　別　保　育　所

▶**時間**　９時30分～11時
▶**対象**　市内に居住する小学校入学前のお子さんとその保護者
▶**内容**　遊びを通した保育所児童との交流
▶**持ち物**　上靴（子ども・保護者とも）、着替え（外で遊ぶことがあります）
※直接会場にお越しください
▶**問い合わせ**　中央子育て支援センター

申し込み・問い合わせ　中央子育て支援センター（☎㊶３７１５）
登別子育て支援センター（☎㊵２７７２）

社会福祉法人 彩咲会（さいしょうかい）
ケアハウス・デイサービスセンター・ヘルパーステーション
アシテルセンの丘
〒059-0028 登別市富岸町1丁目7番地8
養護老人ホーム チボリの森
〒059-0022 登別市川上町227番地1
お問い合わせ・ご連絡 TEL(0143)88-2272・FAX(0143)88-2273
<施設見学は随時受け付けておりますので、お気軽にお申し出下さい>

熊笹を使った製品は当店へ!
～大自然の力!熊笹パワーがあなたの美容と健康をサポート!～

おや炭枕
しっとりぷりん
ぷりん石けん
えぞ熊笹茶
熊笹竹炭
熊笹あめ

北海道熊笹本舗
登別市登別温泉町60番地 TEL(0143)84-3314 直売店大黒屋民芸店

しんた21からのお知らせ

マタニティマークを見かけたら

『マタニティマーク』とは、妊婦が身に付けるマークです。

このマークを見掛けたときは、『席を譲る』『近くでの喫煙を控える』などやさしい心遣いをお願いします。

※マタニティマークは、母子健康手帳の交付時に一緒にお渡しします。

※母子健康手帳の交付をすでに受けて、マタニティマークを希望される方は、健康推進グループ、または市民サービスグループ、各支所にお申し出ください。

さわやか検診（歯周病検診）を受けましょう

あなたの歯と歯ぐきは健康ですか？
歯の抜ける最大の原因は歯周病です。
定期的に検査を受けて、歯周病を予防しましょう。

▶**実施期間**　11月～12月までの間
▶**実施場所**　市内の歯科医院
※自分の希望する歯科医院で受診できます。
▶**対象**　平成21年３月31日現在、満40歳・50歳・60歳・70歳の方（歯科通院中の方を除く）
▶**内容**　歯周病検診（歯のぐらつき、歯ぐきの状態など口腔内診察）、ブラッシングアドバイス
▶**定員**　45人（申込順）
▶**申し込み**　12月10日㈬（土・日曜日、祝日を除く）までに電話でお申し込みください。

高齢者インフルエンザ予防接種のお知らせ

▶**対象**　65歳以上の方、または60歳以上65歳未満で心臓・じん臓・呼吸器の機能障害またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害で身体障害者手帳１級の方
▶**実施期間**　11月１日㈯～12月31日㈬
▶**実施場所**　登別・室蘭市内でインフルエンザ予防接種を実施している医療機関
▶**料金（自己負担額）**　1,050円（接種料金4,074円のうち3,024円は市が負担）
※上記の対象者のうち次の方は無料になります。
- 市の後期高齢者医療制度に加入の方（接種時に保険証を持参してください）。
- 市の国民健康保険に加入の方（接種時に保険証を持参してください）。
- 市民税が非課税の方と生活保護を受給の方（接種時に介護保険料納入通知書、課税証明書（有料）、生活保護受給証明書のいずれかを持参してください）。

▶**申し込み**　医療機関に直接（実施日・時間は事前に問い合わせ）お申し込みください。

『いい歯の日』健康教室を開催します ～登別市・室蘭歯科医師会共催～

▶**日時**　11月８日㈯　13時～17時30分
▶**場所**　しんた21
▶**内容**
①健康教室（13時30分～16時30分）（歯科ドック、口臭測定、唾液テスト、歯科相談、フッ素塗布）
②講演会（16時～17時）
テーマ：「歯から始める健康づくり」
～フッ化物洗口の安全性と効果について～
講師：佐々木健（ささきたけし）さん（北海道保健福祉部健康推進課）
▶**参加料**　無料

『市民健康教室』を開催します

▶**日時**　11月13日㈭　14時～15時30分
▶**場所**　しんた21
▶**テーマ**　『たばこと健康』について
▶**講師**　開田博之（かいだひろゆき）さん（開田医院院長）
▶**参加料**　無料

血液が不足しています。献血にご協力ください

▶**日時**　11月19日㈬　15時30分～16時30分
▶**場所**　市民会館

もぐもぐ食育ひろばに参加しませんか

同じ月齢のお子さんを持つお母さんたちと楽しみながら離乳食を作りませんか。
託児も用意しています。

▶**日時**　12月２日㈫　10時～12時
▶**場所**　しんた21内　調理室
▶**対象**　生後４～６カ月児を持つ保護者
▶**内容**　離乳食（５～７カ月頃）の調理実習と交流タイム
▶**定員**　15人（申込順）
▶**参加料**　500円
▶**持ち物**　エプロン、三角きん
▶**申し込み**　11月28日㈮（土・日曜日、祝日を除く）までに電話でお申し込みください

申し込み・問い合わせ
健康推進グループ
（しんた21内☎㉟０１００）

『▼申し込み』『▼問い合わせ』中の『G』は『グループ』の略です

『一日かろやか教室』に参加しませんか

65歳以上の方を対象に、家庭でも行える簡単な体操と体力測定を行います。

みんなで楽しく体操を始めませんか。

▼**日時** 11月19日(水) 10時～12時
▼**場所** 婦人センター
▼**対象** 市内に居住する65歳以上の方で、軽い運動ができる方
▼**定員** 30人（申込順）
▼**参加料** 無料
▼**持ち物** 動きやすい服装と靴、タオル、飲み物（水分補給の為）
▼**申し込み** 11月4日(火)～17日(月)に電話で高齢・介護G（☎85 5720）

『かろやか教室』に参加しませんか

楽しく体を動かして、心も体もかろやかになりませんか。

▼**場所・日時**

場所	日時
鷲別公民館	11月7日(金)からの月2回金曜日 10時～12時
新寿の家（登別ポスフール内）	11月14日(金)からの月2回金曜日 10時～12時

▼**対象** 市内に居住する65歳以上で軽い運動ができる方
▼**期間** 11月から平成21年4月まで（月2回金曜日）の6カ月間
▼**内容** 介護予防や脳活性化に効果的な体操、お口の渇きを予防する体操など
▼**定員** 各会場10人（申込順）
▼**参加料** 無料
▼**申し込み** 電話で高齢・介護G（☎85 5720）

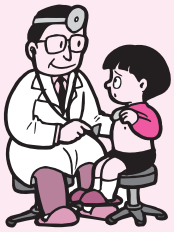
赤十字救急法（基礎）講習会を開催します

思いがけない事故や病気から自分自身を守り、急病人やけが人を正しく救助し、適切な応急手当ができるよう、知識と技術を習得するために、専門の指導員による講習を開催します。

▼**日時** 12月7日(日) 9時30分～14時30分
▼**場所** 鉄南ふれあいセンター
▼**対象** 満15歳以上の方
▼**講習内容** 傷病者の観察の仕方や一次救命処置（心肺蘇生法、AEDを用いた除細動、気道異物除去）などの救急法の基礎講習
▼**定員** 30人（申込順）
▼**参加料** 1千500円
▼**申し込み** 11月21日(金)までに電話で日本赤十字社登別市地区事務局（社会福祉G内☎85 1911）

健康相談・診査

申し込み・問合わせ 健康推進グループ（しんた21内☎85 0100）



◎4カ月児健康診査

▼**月日** 12月18日(木)
※時間は、対象となる家庭に通知します。
▼**場所** しんた21
▼**対象** 平成20年7月16日～平成20年8月15日生まれのお子さん
▼**内容** 診察、身体計測、栄養相談、育児相談
▼**持ち物** 母子健康手帳、バスタオル、替えオムツ

◎8カ月児健康相談

▼**月日** 12月17日(水)
※時間は、対象となる家庭に通知します。
▼**場所** しんた21
▼**対象** 平成20年4月生まれのお子さん
▼**内容** 身体計測、栄養相談、育児相談、遊びの紹介
▼**持ち物** 母子健康手帳、バスタオル、替えオムツ

◎1歳6カ月児健康診査

▼**月日** 12月24日(水)
※時間は、対象となる家庭に通知します。
▼**場所** しんた21
▼**対象** 平成19年5月生まれのお子さん
▼**内容** 診察、歯科検診、身体計測、栄養相談、歯科相談、育児相談、フッ素塗布（希望者800円）
▼**持ち物** 母子健康手帳、お子さんの歯ブラシ

◎3歳児健康診査

▼**月日** 12月10日(水)
※時間は、対象となる家庭に通知します。
▼**場所** しんた21
▼**対象** 平成17年11月生まれのお子さん
▼**内容** 診察、歯科検診、尿検査、身体計測、栄養相談、歯科相談、育児相談
▼**持ち物** 母子健康手帳、お子さんの歯ブラシ

◎乳幼児健康相談

▼**月日** 12月17日(水)
※時間は、申し込み時にお知らせします。
▼**場所** しんた21
▼**対象** 育児相談を希望する方
▼**内容** 発育・発達・育児などの相談、栄養相談
※事前に電話でお申し込みください。

『赤い羽根共同募金』にご協力ください

赤い羽根共同募金

赤い羽根共同募金は、お年寄りや体にハンディキャップを持つ方々の移動のための車いす用リフト付き車両や、障がいのある子どもたちの早期治療、市民ボランティア活動の支援など、社会福祉事業に活用されています。

▶**期間**　12月31日㈬まで
▶**問い合わせ**　登別市共同募金会（登別市社会福祉協議会内☎㊽０８６０）

郷土資料館からのお知らせ

◎包丁とぎ体験

▶**日時**　11月22日㈯　10時～12時
▶**場所**　郷土資料館
▶**対象**　小学５年生以上の方
▶**定員**　30人（申込順）
▶**参加料**　無料
※別途入館料（高校生以上190円）がかかります。
▶**持ち物**　自宅で使用している包丁２・３丁程度
※包丁はケースに入れるか、布に包むなどして持参してください。
▶**申し込み**　電話（10時～16時）で郷土資料館

◎年越しそば打ち体験

▶**日時**　12月６日㈯・７日㈰　９時30分～13時
▶**場所**　郷土資料館
▶**対象**　18歳以上の方
▶**定員**　各20人（申込順）
▶**参加料**　850円（材料費）
※別途入館料（高校生以上190円）がかかります。
▶**持ち物**　胸から掛けるエプロン、髪を覆うもの、手ふき２枚、上履き、そば持ち帰り用の容器
▶**申し込み**　11月13日㈭から24日㈪までに電話（10時～16時）で郷土資料館

◎正月しめ飾りづくり体験

▶**日時**　12月13日㈯　10時～12時
▶**場所**　郷土資料館
▶**内容**　スゲを使ったしめ飾り作り
▶**対象**　小学生以上の方（小学４年生以下は保護者同伴）
▶**定員**　30人
▶**材料費**　１セット100円（１家族２セットまで）
※別途入館料（高校生以上190円）がかかります。
▶**申し込み**　11月18日㈫から電話（10時～16時）で郷土資料館

申し込み・問い合わせ　郷土資料館（☎㊽１３３９）

『▼申し込み』『▼問い合わせ』中の『G』は『グループ』の略です

『広報のぼりべつ』で来年の自分に語りかけてみませんか

明日の登別 2009年 明日の私

市民の皆さんのまちづくりへの思いや身の回りの出来事、世相、家族・友達、感動の出来事、新年を迎える自分への激励など、感じていることを募集します。寄せられた原稿は、平成21年１月号の『明日の登別、明日（2009年）の私』で紹介する予定です。ふるさと登別の将来像を想い描いたり、来年の自分へ語りかけてみませんか。

投稿要領

▶**対象**　市内に居住する小学生以上の方
▶**原稿**　400字程度
※用紙は、原稿用紙に限らず何でも結構です。手書き、ワープロを問いません。
▶**投稿方法**　封書またははがき、ファクス、Ｅメールのいずれかに住所・氏名・年齢・電話番号を記入してご投稿ください
※紙面では原則としてお名前を掲載しますが、匿名を希望される方は『匿名希望』と明記してください。
▶**締め切り**　11月28日㈮（必着）
▶**投稿先**　情報推進グループ（〒059－8701　中央町６丁目11・☎㊺６５８６・FAX㊺１１０８　Ｅメール：pr@city.noboribetsu.lg.jp）

漏水（ろうすい）調査にご協力ください

貴重な水の有効利用や道路陥没などの２次災害の防止を目的として、水道管の漏水調査を実施します。

調査は市が業務委託した民間の調査員が、公道に埋設されている水道管と宅地内の水道メーターを調査し、漏水の有無を確認します。調査員は、市の腕章を着用し身分証明書を携帯していますので、不審に思った場合はご確認ください。

なお、調査は、家の中に入ったり、料金をいただいたりすることはありません。

〈調査区域〉
若草町１・２・４丁目全域、
若草町３丁目の一部、
新生町１・３丁目全域、
美園町２丁目全域

▶**調査期間**　11月上旬から12月下旬まで
▶**調査会社**　札幌フジ地中情報㈱

問い合わせ　水道グループ（☎㊺５５１０）

発達の心配や子育ての困り事、まずは、ご相談を!!

子ども発達支援センター『のぞみ園』では、専門のスタッフ（保育士・理学療養士・臨床心理士）がお子さんの発達について、さまざまな相談をお受けしています。

お子さんの成長や発達について、何か心配なことはありませんか。

子育ての困り事や家庭での関わり方を一緒に考えましょう。

▼**相談日時**　月～金曜日（祝日を除く）9時～17時

※電話・来園のどちらでもお受けしてますので、いつでもご相談ください。

▼**11月の臨床心理士（発達について）の相談日時**　5日㈬・19日㈬　10時～12時

▼**理学療法士（運動面について）の相談日**　毎週月・木曜日（祝日を除く）

※臨床心理士・理学療法士の相談は事前に申し込みが必要です。

※詳しくはお問い合わせください。

▼**申し込み**　子ども発達支援センター『のぞみ園』（☎㉟7721）

『無料調停相談会』を開催します

～室蘭調停協会主催～

土地や建物、金銭、家庭の問題などについて、無料で相談をお受けします。

▼**日時**　11月6日㈭　9時30分～15時

▼**場所**　ポスフール室蘭2階文化ホール

※直接会場にお越しください。

▼**問い合わせ**　札幌地方裁判所室蘭支部（☎㊹6733）

多重債務巡回無料相談会の開催について

北海道財務局では、自らの収入で返済しきれないほどの借金を抱えお悩みの方からの相談を受け付け、相談者の抱える借金の状況などをお聞きし、必要に応じ弁護士・司法書士などの法律専門家への引継ぎを行っております。

無料相談会を開催しますので、事前にご予約の上、お気軽にご相談ください。

▼**日時**　11月19日㈬…10時30分～17時、11月20日㈭…9時～17時

▼**場所**　室蘭市中島会館（旧中島サービスセンター）（室蘭市中島町1丁目21－7）

※より詳しいご相談を行うため、次の資料をできる限り、ご用意ください。

①契約書写し

②返済予定表

③直近での取引明細（ATM・店頭）

※相談費用はかかりません。

※秘密は厳守いたします。

※なお、当日お越しいただけない方は、北海道財務局多重債務者相談窓口でご相談を受け付けしていますので、お気軽にご相談ください。

▼**申し込み**　北海道財務局多重債務者相談窓口（☎011－807－5144、011－807－5145）、予約受け付け（平日9時～17時）

無料法律相談

▶**日時・場所**　①鉄南ふれあいセンターでの相談…12月20日㈯　9時30分～12時、②弁護士事務所での相談…日時は市民サービスグループにお問い合わせください。

▶**内容**　交通事故や金銭貸借、損害賠償、離婚などの法律問題

※裁判や調停中のもの、同じ方による同一内容の相談はお受けできません。

▶**担当弁護士**　芝垣（しばがき）　美男（よしお）弁護士

▶**定員**　各6人（申込順）

▶**申込期限**　11月27日㈭

くらしの無料相談

～北海道行政書士会室蘭支部主催～

▶**日時**　11月22日㈯　9時30分～12時

▶**場所**　鉄南ふれあいセンター

▶**内容**　相続や遺言、各種契約などで官公署に提出する書類の相談

▶**定員**　10人（申込順）

▶**申込期限**　11月21日㈮

※直接会場にお越しいただいても相談できますが、できるだけ事前にお申し込みください。

そのほかの相談

市民生活や消費生活・多重債務に関する相談も随時、市民サービスグループで受け付けています。

また、DVに関する相談も受け付けていますので、もし、あなたが配偶者や恋人から暴力を受けているなら、一人で悩まず相談してください。

なお、消費生活に関する相談は、登別消費者協会（労働福祉センター内・☎㉟8307）でも受け付けています。

申し込み・問い合わせ
市民サービスグループ
（☎㉟2139）

社会教育グループからのお知らせ

申し込み・問い合わせ
（☎88 1129）

平成21年登別市成人祭の実行委員を募集します

登別市成人祭は、毎年実行委員会を組織して新成人のお祝いを行っています。

新成人の思い出に残るような成人祭にしたいという実行委員を募集しますので、ぜひご参加ください。

▶**成人祭の日**　平成21年１月11日㈰

※第１回実行委員会は11月14日㈮18時30分から市民会館で行います。

▶**申し込み**　11月11日㈫までに電話で社会教育グループ

市民会館サークル展・家庭教育学級作品展にお越しください

◎**市民会館サークル展**

▶**日時**　11月10日㈪13時～13日㈭13時

▶**場所**　市民会館１階エントランスホール、大会議室、廊下

▶**内容**　市民会館で活動しているサークルの作品展示会

▲サークル展

◎**家庭教育学級作品展**

▶**日時**　11月17日㈪13時～21日㈮12時

▶**場所**　市民会館１階廊下

▶**内容**　市内の幼稚園や小学校で活動している家庭教育学級の作品展示会

▲家庭教育学級

模範となる青少年をご推薦ください

登別市青少年問題協議会は、平成20年度登別市青少年表彰を行います。登別市を築く担い手として、豊かな心と実践力を持つ青少年を推薦してください。

▶**表彰の種類・対象**

- **青少年善行表彰**　市内に居住する28歳未満で、その活動が模範となる方
- **青少年団体活動者表彰**
  ①個人…市内に居住する28歳未満で、市内に組織された活発な活動を続ける青少年団体に３年以上所属し、その活動が模範となる方
  ②団体…市内に組織された青少年団体で、５年以上の活動を続け、その目的が健全な文化・教養・体育・奉仕活動で、その活動が模範となる団体
- **優良勤労青少年表彰**　市内に居住する28歳未満の方で、勤労年数が３年以上あり、日常生活に誠実・精励で、職務技能の向上・研さんに努めるなど、その活動が模範となる方

▲昨年の表彰風景

▶**推薦者**　市内に居住する方、職場の長、団体の代表者など

▶**推薦・選考方法**　社会教育グループに備え付けの推薦書により、11月28日㈮までに提出してください。後日、登別市青少年問題協議会が表彰者を選考し決定します

のぼりべつ文化交流館『カント・レラ』の今年度の開館は今月で終了します

11月30日㈰で、のぼりべつ文化交流館の今年度の開館が終了します。

次年度の開館は、来年４月１日㈬からの予定です。

▶**問い合わせ**　社会教育グループ

不動産登記<相続・売買・贈与など>
債務整理<毎月返済すると生活費が不足していませんか?>
―早期ご相談が解決へのみちです―
お問合せ先0143-81-2000
黒﨑司法書士事務所
登別市千歳町１丁目５番地３

上田商事株式会社　豊かな暮らしを応援する
Ueda
ユアーズうえだ
登別市新川町2丁目5番地1　TEL(0143)85-7711

ご法要、ご慶事、ご家族の会合にご利用ください
Horobetsu Hotel 平安
登別市中央町5丁目1-1
TEL(0143)代88-0331・FAX(0143)88-0336

ふぉれすと鉱山からのお知らせ

申し込み・問い合わせ
（☎㉟２５６９）

だんだん寒くなってきましたので、防寒着や手袋などを持ってお越しください。

◎鉱山ショート・ショート

ふぉれすと鉱山のスタッフがご案内するショートガイドウオーク。
自然があなたに語りかける物語に、耳を傾けに行きませんか。

▶**日時**　11月７日㈮、26日㈬　10時～11時30分
▶**対象**　18歳以上の方（子ども連れでのご参加も可能です）
▶**定員**　15人（申込順）
▶**参加費**　無料
▶**持ち物**　野外活動ができる服装、防寒着など

◎親子で秋の森をお散歩しませんか？

寒い冬に向けて、自然の中ではどんな準備が始まっているのかな？
楽しい秋の森へ探しに行きましょう。

▶**日時**　11月９日㈰　10時～13時30分
▶**対象**　小学生以上のお子さんとその保護者
▶**定員**　10組（申込順）
▶**参加費**　200円
▶**持ち物**　野外活動ができる服装、帽子、軍手、タオル、防寒着、飲み物、昼食など

◎第５回たまにはアウトドアライフ

寒い時期だからこそ外で、たき火を使ったアウトドア料理。
みんなと一緒に外で食べる料理はまた格別です。

▶**日時**　11月13日㈭　10時～14時
▶**対象**　18歳以上の方
▶**定員**　15人（申込順）
▶**参加費**　500円
▶**持ち物**　野外活動ができる服装、着替え、帽子、防寒着、飲み物、昼食など

※11月18日㈫は施設メンテナンスのため臨時休館日とさせていただきます。ご了承ください

◎ふぉれすと鉱山流里山づくり『間伐体験の日』

森づくりに興味がある方、森の中で汗をかきたい方大募集です。
間伐・除伐など日ごろ体験できないことをします。

▶**日時**　11月29日㈯　10時～13時
▶**参加費**　大人200円、小学生以下100円
▶**持ち物**　汚れても良い服装、防寒着、帽子、軍手、長靴、着替え、飲み物、昼食など

◎森からつながる環境保全講座シリーズ

里山づくりをキーワードに、地球環境につながるような勉強会やお楽しみ講座を開催します。

●**第12回お楽しみ講座⑦里山をつくるⅣ『ベンチづくり』**
▶**日時**　11月30日㈰　10時～15時
●**第13回お楽しみ講座⑧里山を楽しむⅣ『つる伐り・つる細工』**
▶**日時**　12月６日㈯　10時～15時
●**第14回勉強会③環境保全概論Ⅲ『暮らしからみる地球温暖化』**
▶**日時**　12月７日㈰　10時～15時
▶**対象**　18歳以上の方
▶**定員**　各20人（申込順）
▶**参加費**　各200円
▶**持ち物**　汚れても良い服装、帽子、防寒着、飲み物、筆記用具、昼食など

◎第３回森の子育てフォーラム

鉱山流の子育て環境づくりのお話から、全国の取り組み事例、子育てに限らず地域で豊かに暮らせるための今日からできる明日の一歩を、参加するみなさんと探っていきます。

▶**日時**　12月６日㈯　10時～15時
▶**対象**　ご興味のある方ならどなたでも（ただし、子どもは遊びプログラムにご参加いただきます）
▶**定員**　60人（申込順）
▶**参加費**　大人500円、小学生以下200円（共に軽食付き）
※託児あり。事前にお申し込みください。

時代が変わっても、
あたたかさはかわらない。
第一滝本館
ご予約・お問合せは
☎(0143)84-2111　http://www.takimotokan.co.jp
登別市登別温泉町５５番地　info@takimotokan.co.jp

1日無料体験実施中!
ベビー教室(6ヶ月以上)
11/ 5(水)・19(水) 10:30～11:30
11/ 8(土)・22(土) 12:30～13:30
幼児教室(3歳以上)
11/ 4(火)・18(火) 14:40～15:40
11/ 7(金)・21(金) 14:40～15:40
詳細はお電話等でお問い合わせ下さい。
日本水泳連盟優秀校
JSS登別スイミングスクール
登別市若草町1丁目4番地6　TEL(0143)86-6800

『守ろう！確かめよう！この最低賃金』
北　海　道　最　低　賃　金

北海道内で事業を営む使用者及びその事業場で働くすべての労働者（臨時、パートタイマー、アルバイト等を含む）に適用される北海道（地域別）最低賃金が次のとおり改正されました。

最低賃金額　時間額 **667**円

効力発生年月日　平成20年 **10**月**19**日

○最低賃金には、精皆勤手当、通勤手当、家族手当、臨時に支払われる賃金、時間外等割増賃金は算入されません。
○最低賃金額以上の賃金を支払わない場合は、最低賃金法違反として処罰されることがあります。
○特定の産業（『乳製品、糖類製造業』、『鉄鋼業』、『電気機械器具製造業、情報通信機械器具製造業、電子部品・デバイス製造業』、『船舶製造・修理業、船体ブロック製造業』、『舟艇製造・修理業』）で働く方には北海道の産業別最低賃金が適用されます。

問い合わせ　北海道労働局労働基準部賃金課
（☎011－709－2311、
http://www.hokkaido-labor.go.jp）

『法人道民税・事業税の申告』は、簡単便利なインターネットをご利用ください

地方税ポータルシステム（エルタックス）を利用して、インターネットによる法人道民税・法人事業税の電子申告を行うことができますので、ぜひ、ご利用ください。
※詳しくは、エルタックスホームページ（http://www.eltax.jp/）または、北海道ホームページ（http://www.pref.hokkaido.lg.jp/sm/zim）をご覧ください。

問い合わせ　胆振支庁課税課（☎㉔９５７９）

文化・スポーツ振興財団からのお知らせ

市民プール『らくあ』が利用できません

11月23日㈰は、『第63回ＪＳＣＡ北海道ブロックマスターズスイミングフェスティバル』開催のため臨時休館となります。
一般の方のご利用はできませんので、あらかじめご了承ください。

市民作品展の作品を募集します

▶**展示の日時**　11月17日㈪13時～21日㈮12時
▶**場所**　市民会館
▶**内容**　絵画、写真、工芸品、手芸など
▶**申込期限**　11月10日㈪（土・日曜日を除く）

キッズサッカー教室を開催します

▶**日時**　12月13日㈯、20日㈯　３・４歳の部…９時30分～10時30分、５・６歳の部…11時～12時
▶**場所**　総合体育館
▶**対象**　３～６歳の幼児
▶**定員**　各20人（申込順）
▶**参加料**　1,000円（障害保険料含む）
▶**持ち物**　運動ができる服装、室内用運動靴、サッカーボール
▶**申し込み**　11月10日㈪から12月10日㈬（土・日曜日を除く）までに電話（９時～17時）で文化・スポーツ振興財団

市民ミニバレー大会を開催します

▶**日時**　12月14日㈰　受け付け８時45分まで　開会式９時
▶**場所**　総合体育館
▶**種目**　一般の部、競技者の部（各男女別）
▶**チーム編成**　１チーム５人（選手４人、補欠１人）
※４人でも参加できます。
▶**参加料**　１チーム3,000円
▶**申し込み**　11月10日㈪から11月28日㈮までに、総合体育館に備え付けの申込用紙に参加料を添えて申し込み

申し込み・問い合わせ
文化・スポーツ振興財団（☎㊽１１１６）

2009年度入学願書受付中

	締切日	試験日	合格発表
推薦入学三次	12/ 9(火)	12/13(土)	12/18(木)
一般社会人一次	12/ 2(火)	12/ 6(土)	12/11(木)
一般社会人二次	1/20(火)	1/24(土)	1/29(木)
一般社会人三次	2/ 3(火)	2/ 7(土)	2/12(木)

介護福祉学科
こども未来学科
こども未来専攻科
調理師学科

15年連続（調理師は8年連続）　就職希望者全員就職 信頼と実績の就職率 100%　フランスへの留学・就職も実現！各種奨学金・修学資金制度あり。

北海道福祉教育専門学校
〒051-0004 室蘭市母恋北町1-5-11 T(0143)22-7722【入試・就職広報室】T(0143)22-5005

北斗文化学園 インターナショナル調理技術専門学校
〒051-0012 室蘭市山手町1-11-34 T(0143)25-2211【入試・広報室】T(0143)25-2288

平成21年度 園児募集
登別地区の公認私立幼稚園は、平成21年度の園児募集を下記の通り行います。

入園願書の受付を行っています
※詳細は各園までお問い合わせ下さい。

登別市私立幼稚園協会

学校法人　北海道カトリック学園
登別カトリック聖心幼稚園
登別市中央町7丁目15　T85-2414

学校法人　登別立正学園
白菊幼稚園
登別市桜木町2丁目5番地3　T85-2545

学校法人　北斗文化学園
リリー文化幼稚園
登別市鷲別町2丁目17　T87-2211

学校法人　登別立正学園
コロポックルの森　白雪幼稚園
登別市登別本町2丁目25番地8　T83-1162

日本工学院北海道専門学校便り

問い合わせ　☎㊽0888

◎アニメ・CG・Web（ウェブ）科の『のぼりべつカレンダー制作』

〝のぼりべつカレンダー〟の製作を登別商工会議所と協力して行いました。本学科は、写真や文字の配置、色の調整・加工といったデザイン全般を担当しました。

カレンダーには毎月、登別の美しい景観や、まちで行われるイベントの写真、登別で行われる年間行事などを掲載し、観光客にも市民の皆さんにも登別の魅力を再認識してもらえる内容となっています。

カレンダーの表紙には応募ハガキが付属し、1回応募すると毎月抽選で登別の特産品が当たる〝特典付きカレンダー〟になっています。当選者には登別の食品メーカーより直接プレゼントが発送される仕組みで、さらに最後の12月には登別温泉で利用できる宿泊補助券が当たるという豪華な内容です。

◎11月の体験入学のご案内

▼**日時**　11月8日㈯・22日㈯　11時～15時

▼**内容**　各学科・コースで学生生活・将来の仕事が良く分かる内容で実施します。ぜひご参加ください。

▼**問い合わせ**　入学広報室（☎0120－666－965・ホームページ：http://www.nkhs.ac.jp/）

11月の歯科救急医療

日　時	診療所名	住　所・電話番号
11月2日㈰ 9時～11時	奥村歯科医院	室蘭市母恋北町2丁目4－12 ☎㉒2366
	田中デンタルクリニック	登別市中央町1丁目3－13 ☎㊺2472
11月3日㈪ 9時～11時	小野瀬歯科医院	室蘭市東町4丁目31－5 ☎㊹1310
11月9日㈰ 9時～11時	金子歯科医院	室蘭市東町4丁目18－18 ☎㊹2621
	新田歯科医院	伊達市長和町356－5 ☎0142㉕4180
11月16日㈰ 9時～11時	谷口歯科	室蘭市御前水町2丁目1－16 ☎㉓9090
11月23日㈰ 9時～11時	高砂公園歯科	室蘭市高砂町2丁目1－21 ☎㊸2118
11月24日㈪ 9時～11時	エルム歯科中央診療所	室蘭市幸町5－3 ☎㉒8828
11月30日㈰ 9時～11時	工藤歯科医院	室蘭市中島町1丁目23－25 ☎㊺7667

問い合わせ　室蘭歯科医師会（☎㊸3522）

11月中旬～12月上旬の市立図書館行事

日　時	場　所	行事の内容の概要	対　象
11月12日㈬ 10時30分	市立図書館	わらべうたと絵本の読み聞かせ	乳幼児
11月15日㈯ 10時～16時		図書館まつり（絵本の読み聞かせ、民話の読み語り、手話の歌など）	市民
11月22日㈯ 13時30分		絵本の読み聞かせ	幼児・小学生
11月26日㈬ 10時30分		わらべうたと絵本の読み聞かせ	乳幼児
11月29日㈯ 13時30分		むかし話の語り聞かせ	小学生
12月6日㈯ 10時30分		段ボールでクリスマスツリーと飾り作り（※定員20人、申込順）	幼児・小学生
12月6日㈯ 13時30分		絵本の読み語り	幼児からお年寄りまで

▶**参加料**　無料

※幼児は、保護者同伴とします。

※12月6日㈯の『段ボールでクリスマスツリーと飾り作り』は11月8日㈯から25日㈫までに、電話でお申し込みください。

※市立図書館ホームページへ、携帯電話からアクセスできます。資料の検索や図書の予約などにご利用ください。携帯電話からのアクセスは http://library.city.noboribetsu.hokkaido.jp/m/

※毎週木曜日は19時30分まで開館しています。

申し込み・問い合わせ　市立図書館（☎㊺4324）

自衛官を募集します

▼募集種目・応募資格・受付期間・試験日・採用時期

募集種目	応募資格（採用時年齢）	受付期間	試験日	採用時期
2等陸・海・空士	18歳以上27歳未満の男子	11月4日(火)～12月8日(月)	12月13日(土)、または14日(日)	平成21年3月下旬
陸上自衛隊生徒	15歳以上17歳未満の男子	11月1日(土)～平成21年1月6日(火)	平成21年1月10日(土)	

▼申し込み　自衛隊札幌地方協力本部室蘭地域事務所（☎44 9533）、総務G（☎85 1130）

『水道メーター検針と水道料金等収納業務』を11月1日より市都市整備部水道室で行います

平成17年4月1日から、水道メーターの検針や水道料金・下水道使用料の収納業務を民間に委託していましたが、11月1日より㈱登別開発にかわり、市の都市整備部水道室で行います。今後は、名札、身分証明書は登別市都市整備部水道室となっておりますので、不審に思われる場合は、身分証明書の提示を求めるなどしてご確認ください。

▼問い合わせ　水道G（☎85 5501）

室蘭税務署からのお知らせ

◇税に関する作品展

▼日時　11月11日(火)～17日(月)　9時～17時30分

▼場所　市役所本庁舎

▼内容　小学6年生の『税に関する標語』など

◇年末調整説明会

▼日時　12月8日(月)　14時

▼場所　市民会館

▼対象　給与を支給している事業所

▼内容　年末調整のしかた、留意事項、用紙の記載方法、今年度の改正点、電子申告の利用について

◇e－Tax（イータックス）（国税電子申告・納税システム）をご利用ください

e－Taxは、国税の申告や納税、申請・届け出などをインターネットで行うシステムです。

※e－Taxから所得税の確定申告を行い、本人の電子署名と電子証明書を併せて送信した場合、所得税額から5千円（その年分の所得税額を限度）の控除（平成19年分か平成20年分のいずれか1回）を受けることができます。

また、給与所得や年金所得の源泉徴収票、医療費の領収書などの添付が要らなくなります。

※詳しくは、国税庁ホームページ（http://www.e-tax.nta.go.jp）をご覧ください。

▼問い合わせ　室蘭税務署（☎22 4151）

パソコンで『クリスマスカード』を作ろう
～室蘭工業大学で学ぼう～

▼日時　12月14日(日)　9時～12時30分

▼場所　室蘭工業大学　情報メディア教育センター2階

▼対象　小学4～6年生（保護者同伴可）

▼定員　10人（抽選）

▼参加料　無料

▼申込期間　11月10日(月)～28日(金)

▼申込方法　室蘭工業大学地域連携推進課備え付け、または同大学ホームページ掲載の申込書によりお申し込みください。

▼問い合わせ　室蘭工業大学地域連携推進課（☎46 5023）

ホームページを開設しました
～地域雇用創造推進事業～

登別市雇用創造推進協議会のホームページでは、厚生労働省より委託され実施している『地域雇用創造推進事業』の開催情報や受講者の情報、人材を求めている企業の情報などを掲載しています。

『就職活動中の方、企業の人事担当の方、本協議会の活動に興味のある方』は次のアドレスまでアクセスしてください。皆さんのご利用をお待ちしております。

ホームページURL（http://www.noboribetsu-koyou.jp/）

▼問い合わせ　登別市雇用創造推進協議会（商工労政G内☎85 2171）

『市民パソコン講座』を受講しませんか

文書をさらに効率よく作成するコツや地図の作成、エクセルデータの挿入、表の活用などを実践する『ワード2003実践講座』を行います。

▼日時　12月16日(火)～22日(月)　9時30分～15時30分

▼場所　登別地方高等職業訓練校

▼対象　パソコンの基本操作ができる方

▼受講料　1万円

▼定員　19人（申込順）

※受講者が少ない場合は、実施を中止することがあります。

▼持ち物　上履き、筆記用具、昼食

▼申し込み　受講料を添えて12月5日(金)までに登別職業訓練協会（☎85 1450）

『▼申し込み』『▼問い合わせ』中の『G』は『グループ』の略です

平成21年度登別地方高等職業訓練校の入校生を募集します

▼訓練科目・入校資格など

訓練科目	入校資格	訓練期間	定員
木造建築科	中学校卒業以上の学力のある方	2年間（昼間）	各10人
建築板金科			
建築塗装科			
建築設計科	高校卒業以上の学力のある方	2年間（夜間）	
経理事務科		1年間（夜間）	
ＯＡシステム科			19人

※訓練期間の（昼間）は9時～17時、（夜間）は18時～21時です。

▼**対象**　現在または過去に雇用保険の被保険者である方

▼**受講料**　1～6万円

▼**申し込み**　平成21年3月19日㈭までに登別職業訓練協会（☎㉟1450）

『障害者週間記念事業』を開催します

この機会に障がいに対する理解を深めませんか。また、運営に協力いただけるボランティアの方も募集しています。皆さんの参加と協力をお待ちしています。

▼**日時**　11月22日㈯・23日㈰　10時～17時

▼**場所**　アーニス1階広場

▼**内容**　障がい者作品展示、介護用品展示、障がいに関わる相談やボランティア体験など

▼**問い合わせ**　登別市障害者福祉関係団体連絡協議会（登別市社会福祉協議会内☎㊽0860）

『ＥＴＣ時間帯割引』拡充のお知らせ

政府による安心実現のための緊急総合対策として高速道路のＥＴＣ時間帯割り引き『休日昼間割引』を導入し、平日の『深夜割引』適用時間を拡充します。

●休日昼間割り引き（約50％割り引き）の適用条件

軽自動車等・普通車でＥＴＣ通行し、入口か出口の料金所（一部例外あり）を休日（土・日曜、祝日）の9時～17時に通過（1回の走行は100キロメートル以内、1日2回まで）

●深夜割り引きの適用時間の拡大

現在の深夜割引（毎日0時～4時を40％割り引き）の時間を拡大し、祝日を除く月～金曜日の22時～24時が30％割り引きになります。

※詳しくはお問い合わせください。

▼**問い合わせ**　室蘭開発建設部地域振興対策室（☎㉒9171）

『国民年金保険料』納付のご案内を行っています！

国民年金保険料の納め忘れがあると、将来受け取る年金が減額されたり、受けられなくなったり、また、障害基礎年金や遺族年金も受けられなくなったりする場合があります。

納め忘れを防ぎ、国民年金被保険者のみなさんの受給権を確保するため、保険料の納付期限が過ぎても納付が確認できない方に対し、社会保険庁から委託を受けた民間事業者（株式会社オリエントコーポレーション）が電話や文書、戸別訪問などで国民年金保険料の納付のご案内を行っています。

◎注意点

※民間事業者の担当者が保険料をお預かりして保険料を収納する場合には、必ずお客さまが保険料の納付書をお持ちの場合に限られています。

※社会保険庁が発行した保険料の納付書をお持ちでない方から、民間事業者の担当者が現金をお預かりして、領収書を発行することはありません。

▼**問い合わせ**　室蘭社会保険事務所（☎㉔7104）

『小規模企業共済制度と経営セーフティ共済』のご案内

◆小規模企業共済制度

個人事業主または会社などの役員の方が事業をやめられたり退職された場合に、生活の安定や事業の再建を図るための資金をあらかじめ準備しておくための制度です。

この制度の特徴は、掛金は全額所得控除で、受け取る共済金も退職所得扱いまたは公的年金などの雑所得扱いとなります。

※詳しくはお問い合わせください。

◆経営セーフティ共済（中小企業倒産防止共済制度）

取り引き先の突然の倒産が原因で、経営悪化の危機に直面してしまったときに資金を借り入れることができる中小企業を守るための制度です。無担・無保証人で、積み立て掛金の10倍の範囲内（最高3千200万円）で被害額相当の共済金が借り入れ可能で、毎月の掛金も税法上、必要経費または損金に算入できます。

※制度の運営は、独立行政法人中小企業基盤整備機構（ホームページhttp://www.smrj.go.jp/kyosai/index.html）

▼**申し込み**　登別商工会議所（☎㉟4111）、または各金融機関の窓口

第30回合唱のつどい『登別コーラスフェスティバル』を開催します

登別合唱協会と市内や近隣在住の合唱愛好者により、歌劇『カルメン』をハイライトで上演します。

▼**日時** 11月9日(日) 開場15時 開演15時30分
▼**場所** 市民会館
▼**内容** 第1部…各合唱団の演奏、第2部…歌劇『カルメン』の上演
▼**入場料** 中学生以上800円
▼**問い合わせ** 登別合唱協会・古田さん(☎(85)6244)

市民ゲーム大会を開催します

～登別レクリエーション協会主催～

▼**日時** 11月9日(日) 10時～12時
▼**場所** 鉄南ふれあいセンター
▼**内容** 健康体操や各種ゲームなど
▼**持ち物** 運動しやすい服装(靴)、タオル、飲み物
▼**申し込み** 11月7日(金)までに電話で荒生さん(☎(86)8636)

『ヘルスサポーター21』の集いに参加しませんか

～登別市食生活改善推進員協議会～

一緒に健康について考えてみませんか。講話や調理実習を通じた楽しい講座です。

▼**日時** 11月18日(火) 9時30分～15時
▼**場所** しんた21
▼**対象** 18歳以上の方
▼**内容** 五宝菜・中華風辛味あえなど
▼**定員** 30人
▼**参加料** 200円(教材費・食材費)
▼**持ち物** エプロン・三角きん・筆記用具
▼**申し込み** 11月15日(土)までに安達さん(☎(85)7845)

第30回登別消費者大会記念講演会を開催します

～登別消費者協会主催～

▼**日時** 11月18日(火) 10時～12時
▼**場所** 市民会館大ホール
▼**テーマ** 北海道洞爺湖サミットについて
▼**演題** 北海道洞爺湖サミットの意義と町の役割
▼**講師** 澤登勝義(さわとかつよし)さん(洞爺湖町総務部調整室長)
▼**定員** 500人
▼**参加料** 無料
▼**問い合わせ** 登別消費者協会(☎(85)8307)

料理教室に参加しませんか

～登別厚生年金病院主催～

▼**日時** 11月21日(金) 10時～12時30分
▼**場所** 登別厚生年金病院3号棟2階調理実習室
▼**テーマ** 血液サラサラ献立～脂質異常症の方へ～
▼**内容** 餅入り鶏豆腐蒸し、たこの大豆煮、秋刀魚ご飯
▼**定員** 8人
▼**参加料** 無料
▼**持ち物** エプロン(貸し出しもあります)
▼**申し込み** 11月19日(水)15時までに、電話で登別厚生年金病院・水野さん(☎(80)3235)

パソコン講座の受講生を募集しています

～NPO法人くるくるネット主催～

▼**講座名・曜日・時間帯**

講座名	はじめてのエクセル・ワード		
曜日	毎週火	毎週金	毎週土
時間帯		13時～15時15分	
	15時15分～17時15分		
	17時30分～19時30分		

▼**場所** 地域情報センターPiP(ピップ)
▼**定員** 各回6人(申込順)
▼**参加料** 各回2千円、教材費200円
▼**申し込み** 電話、ファクスでNPO法人くるくるネット(☎・FAX(23)2101、または☎090－8169－2514)

ユニセフ募金にご協力ください

日本ユニセフ(国際連合児童基金)協会は、アジアやアフリカの子どもたちのために、募金活動を行います。

皆さんのご協力をお願いします。

会場では、ユニセフのクリスマスカードも販売します。

また、『アフリカへ毛布を送る運動』への協力もしていますので、不用の毛布がありましたら、ご連絡をお願いします。

▼**日時** 11月23日(日) 10時～15時
▼**場所** アーニス1階
▼**問い合わせ** 川瀬さん(日本ユニフ協会北海道支部登別担当☎(83)1027)

11月は『証明用電気計器の受検促進月間』です

北海道経済産業局は、毎年11月を証明用電気計器(子メーター)の受検促進月間と定めています。

貸しビルやアパート、寮、マンションなどで、有効期限が満了した証明用電気計器を所有する方は、早急に検定を受けてください。

※詳しくはお問い合わせください。

▼**問い合わせ** 北海道経済産業局資源エネルギー環境課(☎011－700－2283)

講演会『郷土史のタベ』にお越しください
～登別郷土文化研究会共催～

▼日時　11月22日(土)　18時
▼場所　市民会館2階視聴覚室
▼演題　『栗林五朔と登別温泉』
▼講師　本野里志さん（室蘭文化連盟会長）
▼参加料　無料
▼問い合わせ　佐々木さん（登別郷土文化研究会☎(85)5213）

暮らしと家計の講習会
～あなたも今日から生活上手～

家計簿を中心に、バランスの良い買い方、食べ方、CO_2を減らす工夫などの生活を一緒に考えませんか。

▼日時・場所　①11月12日(水)…婦人センター、②11月13日(木)…登別中央福音教会　各10時～12時
▼参加料　400円（当日券450円）
※託児を希望の方は事前にお申し込みください（託児料150円）
▼申し込み　室蘭友の会（☎(45)0605）

『市民そば打ち講習会』を開催します
～登別蕎麦道場主催～

▼日時　11月23日(日)　9時
▼場所　札内高原館
▼内容　マンツーマンの指導でそば打ちを行い、講師が打ったそばを試食し、参加者が打ったそばは持ち帰ります
▼定員　20人（申込順）
▼参加料　2千円（材料費、試食を含む）
▼申し込み　11月10日(月)までに電話で二木さん（☎(85)2773）

第8回調べの会コンサート『琴&フルートのタベ』を開催します

▼日時　11月11日(火)　開場18時　開演18時30分
▼場所　室蘭市市民会館（室蘭市輪西町2丁目5－1）
▼参加料　500円（当日券あり）
▼問い合わせ　東川さん（☎(45)1767）

交通事故の援護制度のお知らせ

交通事故被害世帯の皆さんには、次のような援護制度がありますので、ご利用ください。

◎交通遺児等育成資金の貸し付け
▼対象者　0才～中学校卒業まで
▼貸付金額　1人につき最初に一時金15万5千円、以後月額2万円、小・中学校入学時に入学支度金4万4千円
▼貸付期間　貸し付け決定時から中学校を卒業するまで
▼利子　無利子
▼返還方法　貸付期間終了後6カ月または1年を経過した後に、月賦、または月賦・半年賦併用による、20年以内の分割均等返還
※ただし、高校、大学、そのほか各種学校への進学者は、卒業までの間、返還を猶予することもできます。

◎重度後遺障害者に介護料支給
▼対象者　自動車事故により、脳や脊髄、胸腹部臓器に損傷を受け、常時または随時の介護を必要とする方で一定の要件に該当する方
▼支給額　月額2万9千290円～13万6千880円の間で、状況により支給
『短期入院』費用があれば別枠で支給
▼支給期間　支給月は3・6・9・12月で、3カ月分を一括支給
※詳しくはお問い合わせください。
▼問い合わせ　独立行政法人自動車事故対策機構（☎011－551－2145）

『高血圧教室』に参加しませんか
～登別厚生年金病院主催～

▼日時　11月12日(水)　15時～16時
▼場所　登別厚生年金病院3号棟2階教室
▼対象　高血圧患者の方やその家族、そのほか希望者
▼内容　高血圧と合併症について（山懸医師）、食事療法について（管理栄養士）の講話など
▼参加料　無料
※直接会場へお越しください。
▼問い合わせ　登別厚生年金病院栄養部・水野さん（☎(80)3235）

市民公開講座を開催します

西胆振在宅ホスピスネットワークでは、『切れ目のない緩和ケアの提供を目指して』をテーマに、公開講座を開催します。

▼日時　11月22日(土)　13時30分～16時45分（開場13時～）
▼場所　室蘭市市民会館（室蘭市輪西町2丁目5－1）
▼演題・講師

演題	講師
『もし肺癌と言われたら－検査や治療はどうなる？そして…』	笹岡彰一さん（市立室蘭総合病院呼吸器科部長）
『施設におけるホスピスケア』～ホスピス医の立場から～	岡本拓也さん（洞爺温泉病院ホスピス長）
『人生最期の花道を全うした父』～遺族の立場から～	苫米地善彦さん・愛子さん
『在宅における終末期ケア』～訪問看護師の立場から～	南のぞみさん（登別訪問看護ステーション看護師）
『在宅における終末期医療』～家庭医の立場から～	平野嘉信さん（本輪西ファミリークリニック副院長）

▼定員　150人
▼参加料　500円
▼問い合わせ　洞爺温泉病院医療相談室・鎌田さん（☎0142(87)2311）

パソコンで遊ぼう〝2008・Vol.2〟を開催します
～NPO法人シニアネットいぶり主催～

▼**日時**　11月15日㈯　10時～15時
▼**場所**　室蘭市民会館（室蘭市輪西町2丁目5－1）
▼**内容**　パソコン講習（インターネットで相談するには？）、パソコン体験（CDラベル作成、デジカメで動画操作）、講演（パソコンでの疲労を癒す体操と食事について）など
▼**参加料**　無料
▼**問い合わせ**　NPO法人シニアネットいぶり工藤さん（☎㊺2726）

『法テラス札幌』をご利用ください

法テラス（日本司法支援センター）では、法的トラブル（相続、離婚、多重債務、賃貸借、交通事故など）に役立つ『情報の提供や相談窓口』のご案内を行っています。
電話と面談で受け付けていますので、お気軽にお問い合わせください。
▼**受け付け**　平日9時～16時（予約は17時まで）
▼**問い合わせ**　法テラス札幌（☎050－3383－5555、札幌市中央区南1条西11丁目1コンチネンタルビル8階）

戸籍・住民票の手続きの際、窓口で本人確認を行います

本人になりすました虚偽の届け出などを防止するため、窓口での本人確認が法律で定められました。
皆さんのご理解ご協力をお願いします。

▶**本人確認書類**
＜1つで済むもの＞　運転免許証・パスポート・住民基本台帳カード・身体障害者手帳・療育手帳・船員手帳・小型船舶操縦免許証などの顔写真が貼付されている官公署発行の身分証明書。
＜2つ必要なもの＞　健康保険証・年金手帳・身分証明書（顔写真無）・住民基本台帳カード（写真無）・介護保険の被保険者証・年金証書・恩給の証書など。
※戸籍届や住民異動届の本人確認ができない場合は、届出人に対し、届け出があったことを郵便でお知らせし、確認します。
※証明書の発行には、委任状が必要となる場合がありますので、詳しくはお問い合わせください。

問い合わせ　市民サービスグループ　☎㊺1855

『▼申し込み』『▼問い合わせ』中の『G』は『グループ』の略です

市でパスポートの申請・交付事務を行っています

▶**対象**　市内に住民登録のある方
※市内に住民登録のある方は、胆振支庁での取り扱いができません。
▶**申請者**　本人、もしくは代理の方
※提出書類の中に本人が自書しなければならない欄がありますので、事前に書類を入手してください。
※5人以上の代理申請をされる場合には、予約が必要です。
▶**必要なもの**　全部（個人）事項証明書［戸籍謄（抄）本］、写真、未使用のはがき、本人確認書類、印鑑など
▶**申請受付時間**　9時～16時30分（土・日曜日、祝日、12月29日～1月5日を除く）
※申請日から交付日まで、2週間程度かかります。
▶**交付時間**　9時～17時30分（土・日曜日、祝日、12月31日～1月5日を除く）
▶**交付手数料**
● 10年の旅券（20歳以上の方）の場合…16,000円
（収入印紙14,000円、北海道収入証紙2,000円）
● 5年の旅券（12歳以上）の場合…11,000円
（収入印紙9,000円、北海道収入証紙2,000円）
● 5年の旅券（12歳未満）の場合…6,000円
（収入印紙4,000円、北海道収入証紙2,000円）
※収入印紙と北海道収入証紙は、登別母子会売店（市役所内）で取り扱いしています。
▶**取り扱い窓口**　市役所本庁舎市民サービスグループ（2番窓口）
※支所では、取り扱いしません。

問い合わせ
市民サービスグループ
（☎㊺2139）

財政公表

平成20年９月末の財政状況をお知らせします

市の平成20年度各会計予算は、平成20年第１回登別市議会定例会で各会計の当初予算が議決され、その後、９月30日までに一般会計は２回の補正を行い、特別会計では国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、カルルス温泉スキー場特別会計それぞれ１回の補正を行っています。

平成20年度予算の９月末日現在における収入や支出の概況、市債の状況などは次のとおりです。

平成20年度各会計予算執行状況

会計名		当初予算額	補正額	予算額（９月30日現在）	歳入		歳出	
					収入済額	収入率(%)	支出済額	執行率(%)
一般会計		183億7,800万円	9,117万円	184億6,917万円	88億3,722万円	47.8%	70億3,785万円	38.1%
特別会計	国民健康保険	65億7,480万円	1,231万円	65億8,711万円	26億7,813万円	40.7%	26億8,116万円	40.7%
	学校給食事業	3億4,530万円	—	3億4,530万円	8,595万円	24.9%	1億3,655万円	39.5%
	公共下水道事業	37億9,440万円	—	37億9,440万円	3億3,150万円	8.7%	10億3,767万円	27.3%
	老人保健	5億8,400万円	—	5億8,400万円	5億1,851万円	88.8%	5億4,400万円	93.2%
	簡易水道事業	2,820万円	—	2,820万円	656万円	23.3%	548万円	19.4%
	介護保険	28億2,350万円	4,212万円	28億6,562万円	11億2,225万円	39.2%	10億6,786万円	37.3%
	カルルス温泉スキー場事業	1億2,180万円	49万円	1億2,229万円	—	0.0%	871万円	7.1%
	後期高齢者医療	6億3,650万円	—	6億3,650万円	2億1,984万円	34.5%	7,286万円	11.4%
合計		332億8,650万円	1億4,610万円	334億3,260万円	137億9,998万円	41.3%	125億9,214万円	37.7%

※項目ごとに表示単位未満を四捨五入しているため、合計欄とは一致しません。

市民一人当たりの状況

人口（９月30日現在）	市民一人当たりの市税	市民一人当たりに使われる市のお金
5万2,966人	10万6,434円	34万8,699円

※市税収入と一般会計歳出総額の予算額（９月30日現在）を、市の人口で除して算出しています。

市債残高の状況

会計区分		残高
一般会計		265億4,193万円
特別会計	学校給食事業	1,449万円
	公共下水道事業	194億4,630万円
	簡易水道事業	5,734万円
合計		460億6,005万円

※各会計の残高ごとに表示単位未満を四捨五入しているため、合計欄とは一致しません。

一時借入金の状況

９月30日現在において、一時借入金は借り入れておりません。

問い合わせ

財政グループ

（☎85 1331）

連合町内会からのお知らせ
～市民憲章とまちづくり～

市民憲章の精神に基づくまちづくりを目指して

市民憲章推進協議会
会長　佐藤（さとう）　逸夫（いつお）

市民憲章は、登別市の理想を市民の皆さまの総意により、市民の基本的な心構えとして、五か条にまとめたものです。

汗を流して美しい自然を守り育てること、さらにそこに住む人たちの活気に満ちた喜びあふれる生活ができる町を目指すための、市民一人一人の生き方の指標でもあります。

市民憲章推進協議会は、このまちづくりの基本を市民の願いとして尊重することで、この実現に向けて運動を展開しております。

この運動には、今年も多くの市民の賛同をいただきましたが、その特徴が幌別駅前花壇と若草中央花壇に集約されています。この二つの花壇にはとてもきれいに花が咲きました。これこそ市民憲章にうたわれている美しいまちづくりの実践例と言えます。

暑いさなかに、散水や草取りなど皆さまの汗の結晶が身を結んだものであり、作業に従事した関係者の皆さまにあらためて感謝を申し上げます。

市民の喜びの声をたくさん頂きましたが、育てる者と、美しさに感動する者とが一体となって心を通わせることこそ、これからのまちづくりに欠かすことのできない大切な要件かと思います。

市民憲章推進協議会では、今後市民憲章条文を市民の皆さまの目に触れる機会を多くすることにより、いっそう普及に努めてまいりたいと考えます。

花壇コンクールが開催されました

市連合町内会と市民憲章推進協議会の花いっぱい運動の花壇コンクールには、市内14町内会、個人花壇２件が参加されました。コンクールの結果は次のとおりです。

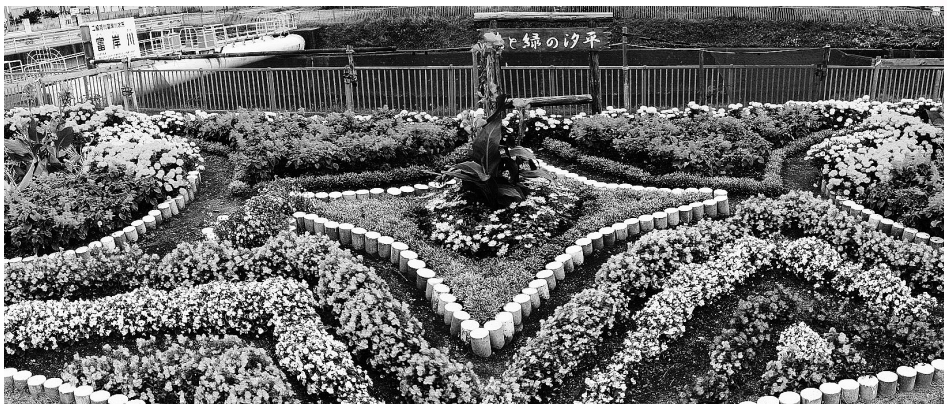
優秀賞　汐平町内会

優良賞　幌別鉄南第八町内会
若草町内会
新和会

努力賞　幌別鉄南第６町内会
幌別第二町内会
ひまわり町内会
富岸町内会
若緑町内会
鷲別２丁目町内会

奨励賞　幌別第一町内会
新生町望洋町内会
若草第二町内会
新生町内会
橋本宅花壇（幌別町）
逢坂宅花壇（来馬町）

優秀賞　汐平町内会花壇



▲丹精込めた花壇作り風景

▲表彰される汐平町内会の皆さん

汐平花壇の概要

花壇設計　今年は、北海道洞爺サミットが行われ、全世界に向けて北海道の洞爺湖が紹介されました。花壇春耕時、その印象を想定し図形化。中央には北海道をかたどり、左右には、Ｇ８主要参加国首脳共有の『和』を大きな花の『輪』に表現しました。表彰はともかく、道行く人が少しでも癒されればとの思いで制作しました。

花苗の種類　６種類…マリーゴールド・ベゴニア・インパーチェンス・折り鶴蘭・カンナ・アキランサス（別名テランセラ）

花苗は、市から支給されたものの一部、協力員が丹精込めて育てたものが大部分で、購入は球根のみ。花の種類と色彩を使い分けました。

花壇面積　約70平方メートル

ちょっとひとこと

楽しかったこと、悲しかったこと、市への疑問や意見・要望などを情報推進グループへ電話やはがき、封書、ファクス、電子メールでお寄せください。なお、個人や団体への中傷、営利を目的としたお話はご遠慮ください。

情報推進グループ
☎(85)6586
FAX(85)1108
Eメール:pr@city.noboribetsu.lg.jp
中央町6―11

市街化調整区域に住宅を新築してもよいのでしょうか

私の知人が市街化調整区域に住宅を新築しました。

ダメな事を知っていながら完成し、引っ越しをしてしまいました。

途中で、役所の方も仕事上訪問したようですが、なぜ完成に至ったのでしょうか。

別に土地も自宅も持っているのにこの有様です。

また、その土地で排水など、どのようになっているのか、心配です。

わたしたちも市街化調整区域に建てても役所は何も言えないんですか。

（登別市　一市民）

回答します

市街化調整区域内には、一般的には農業・林業・漁業従事者の専用住宅以外の建築はできません。

市では、違法な建築行為については、実態調査後建築主などに口頭や文章による指導を行い、応じない場合は、是正勧告の行政指導を行います。

さらに、応じない場合は、聴聞を行った後、是正命令（違反是正のための措置）をし、監督処分することとなります。

市といたしましては、今後もそのような建築主の方に対しては、法に従った措置を順次行います。

どうしてごみを山や川などの自然に捨てるのでしょう

先日住宅から少し離れた川沿いを歩き、狭い山道を歩いて行くと『ごみ』があちらこちらに捨てられていました。

ご丁寧にビニール袋に入れこんな山奥まで持って来て捨てているのかと、疑問というか、あきれました。

川のせせらぎの音や新鮮な緑の葉の色が、こんなことで失われて行くとしたら・・・。どうしたらなくなるのでしょうか？

子どもではありません、明らかに大人ですね。やはり入り口を塞いだり、罰金や監視員を増やすなどの方法しかないのでしょうか。心から自然を愛し、大切にするという人間らしさはどこに行ったのでしょうか。希薄な世の中になったものだと思うと、残念です。

（富岸町・主婦）

不用品ダイヤル市

お申し込み・お問い合わせは
登別消費者協会（☎(85)8307）

火～金曜日（祝日を除く）10:00～16:00

※お申し込みは、市内に居住する方が対象で、登録期間は6カ月です。
※継続希望の場合は、再度お申し込みください。
※宝飾品は受け付けしません。

ゆずります（売ります）

●ミニビリヤード●スキーキャリア●は虫類の飼育ケース（幅95㌢×奥行58㌢×高さ70㌢）●ギター（練習用・ケース付き）●日本人形・ガラスケース入り（幅32㌢×奥行28㌢×高さ50㌢）●机・いす（木製）●子ども用自転車（小学3～6年生用）●ポータブルトイレ（ウォシュレット付き・無）●ジューサー●日本人形・ガラスケース入り（幅32㌢×奥行24㌢×高さ53㌢）●羽子板・ガラスケース入り（幅42㌢×奥行24㌢×高さ91㌢）●シートカバー（ハイエースカスタムリミテッド用）●ミシン●ひな人形（7段飾り）●漬物用重石（12㌔・15㌔）●FF小型石油ストーブ●食卓テーブル（幅120㌢×奥行77㌢×高さ71㌢）●電気こたつ●布団乾燥機●ハロゲンヒーター●折りたたみ自転車●足踏みミシン●スパイクタイヤ・ホイル付（80R－13）●自転車（大人用）

ゆずってください（買います）

●剣道防具一式（胴着・はかま含む、小学校高学年用・大人用）●ミシン●ノートパソコン●ベビーカー●幼児用自転車（補助輪付き）●ストーブガード●ぶら下がり健康器●ワープロ●カラオケ機器（テープ付き）●婦人用自転車●シングル介護ベッド（電動）

ほん

今月の新着図書
市立図書館
☎(85)4324

三月の招待状

角田　光代 著

年下の恋人と同棲する充留のもとに、学生時代からの友人の離婚パーティーの案内状が届いた。パーティーに集まった友人たちの動揺、いら立ち、新しい恋。男女5人の友情と恋愛を描いた長編小説。

風天　渥美清のうた

森　英介 著

全くといっていいほど私生活を明かさず、ミステリアスな部分が多かった喜劇役者・渥美清。彼の『知られざる俳句人生』を、元新聞記者の渾身ルポと発掘218句全解説で初公開する。

このほかに新しく入った本

◇セーヌの川辺　池澤　夏樹 著
◇きのうの世界　恩田　陸 著
◇わが夕張 わがエトロフ　佐々木　譲 著
◇アルトリ岬　加治　将一 著
◇産声が消えていく　太田　靖之 著
◇いかだ満月　山本　一力 著
◇なもなきはなやま　岩槻　優佑 著
◇目からハム　田丸公美子 著

※図書館では、毎月購入している本の全リストを差し上げています。ご利用ください。

一緒に『まちづくり』しませんか？

～市民自治推進委員会の委員を募集しています～

皆さんは、日々の生活の中で、「登別市でもこんなことができたらもっと便利になるのに」、「実現できると思うんだけど、なぜ、誰も取り組まないんだろう」、「登別市で暮らす上で、こんな問題があるんだけど、誰も疑問に思わないんだろうか」と思うことはありませんか。

市民の皆さんのまちづくりへの思いを語り合い、市民と行政の協働によるまちづくりを進めるため、『登別市市民自治推進委員会』の委員を随時、募集しています。

★市民自治推進委員会ってなに？

■市が重要な施策や計画を策定するときの企画立案段階などで、委員の皆さんのご意見やアイデアをお聞かせいただきます。

■個人的な苦情や陳情を行う場ではなく、『まちづくり』について話し合う場です。一人ひとりの意見を尊重して話し合いを行っていただきます。

★委員はどんな活動をするの？

６つの部会（行政推進、生活環境、保健福祉、産業労働、都市整備、文化スポーツ教育）のいずれかに所属していただき、委員の皆さんが提案する課題や問題点、市からの案件について、提言やアイデアを述べていただきます。

★今、自治推進委員会ではどんなことをしているの？

委員の皆さんが一堂に会し、会のあり方などを決定する『全体会議』をこれまでに５回開催したほか、各部会を精力的に開催しています。

▶**応募資格**　市民と行政の協働によるまちづくりに賛同し、市内に居住または通勤・通学する18歳以上の方

▶**募集形態**　登録制（随時）

▶**委員の身分**　無報酬のボランティア

▶**申込方法**　市のホームページや市役所１階市民コーナー、各支所、市民会館、市立図書館に備え付けの登録申込書に必要事項を記入の上、企画グループへ持参または郵送していただくかＥメールでお申し込みください

◎ホームページ
http://www.city.noboribetsu.lg.jp

申し込み・問い合わせ
企画グループ
（☎㉟1122　〒059－8701　中央町６丁目11
Ｅメール　kikaku@city.noboribetsu.lg.jp）

となりまち・ホットライン

白老町

『めむの会』クラフト体験参加者募集

手作りのハガキやしおりを作ってみませんか!

▶**日時**　11月22日㈯　９時～12時

▶**場所**　ポロトの森ビジターセンター

▶**内容**　採集したいろいろな落ち葉やストックした押し花などを使って、手作りのハガキやしおりづくりを体験します

▶**参加料**　大人500円、小中学生250円

▶**持ち物**　筆記用具

▶**締め切り**　11月21日㈮　16時まで

▶**申し込み**　『めむの会』有田さん（☎090－8938－1511）

室蘭市

冬の遊び場『スケートリンク』が11月１日にオープン！

▶**開館時間**　平日…12時～18時、土・日曜日、祝日…10時～18時

▶**休館日**　月曜日

※月曜日が祝日の場合は、その翌日が休館日です。

▶**場所**　室蘭市中島スポーツセンター

▶**入場料（１人１回）**　一般400円、65歳以上300円、高校生200円、小・中学生100円

※未就学児童は無料。

※お得な回数券もあります。

▶**問い合わせ**　室蘭市中島スポーツセンター（☎㊺０８００）

伊達市

陸上自衛隊第７音楽隊ファミリーコンサート

今年も面白いパフォーマンスや素晴らしい演奏を聴かせてくれます。

▶**日時**　11月28日㈮　開場17時30分、開演18時

▶**場所**　だて歴史の杜カルチャーセンター大ホール

▶**入場料**　無料（整理券必要）

▶**入場整理券配布場所**　日専連パシフィック伊達、伊達信金（伊達市内各店）ほかポスターを掲示してある施設など

▶**問い合わせ**　伊達市自衛隊協力会笹木さん（☎０１４２㉓２２２２）

人のうごき（平成20年9月末日現在）／人口52,966（－8）　世帯24,913（+2）（　）は前月比

発行・編集／登別市総務部情報推進グループ　〒059－8701　登別市中央町6－11　☎0143㉟6586　FAX0143㉟1108
ホームページ：http://www.city.noboribetsu.lg.jp　Eメール：pr@city.noboribetsu.lg.jp

この広報紙は古紙配合率30%の紙を使用しています。